

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
Excel実習	必修	78
対象学科・学年		
事業創造学科2年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
窪田 浩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>Excelの操作技術の基本を身に付け、おおよそビジネスで必要とされる基本的操作を身につけるための授業。Excelの基本的な使い方はもちろん、グラフや関数、テーブルの作成など基本的なことを習得していく。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>MOS(Excel2016)の合格</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%を前提として、確認テストや模擬問題の得点とその完成度を含めて評価する</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>MOS攻略問題集Excel2016、ノートパソコン</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p>ノートパソコンには、Windows10及びOffice2016の日本語版がインストールされていること</p>

(8) その他

<p>特に無し</p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Excel実習

W	時間	授業内容	授業方法
	1	ノートパソコンへOfficeをインストールする	Office365の個人のアカウントにてインストール
	2	〃	〃
	3	〃	〃
	4	簡単な作表を行い、Excelの概要を理解する	簡単な作表をする(計算式、関数、書式)
	5	〃	〃
	6	〃	〃
	7	Excelの使い方の概要説明、リボンの構成	プロジェクターに投影し、実際に作成手順を一緒に行う
	8	第1章 ワークシートやブックを作成する	〃
	9	第1章 ワークシートやブック内を移動する	〃
	10	第1章 ワークシートやブックの書式を設定する	〃
	11	第1章 ワークシートやブックのオプションと表示をカスタマイズする	〃
	12	第1章 配布するためにワークシートやブックをお設定する	〃
	13	第2章 セルやセル範囲にデータを挿入する	〃
	14	〃	〃
	15	第2章 セルやセル範囲の書式を設定する	〃
	16	〃	〃
	17	第2章 データをまとめる、整理する	〃
	18	〃	〃
	19	第3章 テーブルを作成、管理する	〃
	20	〃	〃
	21	第3章 テーブルのスタイルと設定オプションを管理する	〃
	22	〃	〃
	23	第3章 テーブルをフィルターする、並べ替える	〃
	24	〃	〃
	25	第4章 関数を使用してデータを集計する	〃
	26	〃	〃
	27	第4章 関数を使用して条件付きの計算を実行する	〃
	28	〃	〃
	29	第4章 関数を使用して文字列を整形する、変更する	〃
	30	〃	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Excel実習

W	時間	授業内容	授業方法
	31	第5章 グラフを作成する	プロジェクターに投影し、実際に作成手順を一緒に行う
	32	〃	〃
	33	第5章 グラフの書式を設定する	〃
	34	〃	〃
	35	第5章 オブジェクトを挿入する、書式を設定する	〃
	36	〃	〃
	37	模擬練習問題1でのトレーニング	〃
	38	〃	〃
	39	〃	〃
	40	〃	〃
	41	〃	〃
	42	〃	〃
	43	模擬練習問題2でのトレーニング	〃
	44	〃	〃
	45	〃	〃
	46	〃	〃
	47	〃	〃
	48	〃	〃
	49	模擬練習問題3でのトレーニング	〃
	50	〃	〃
	51	〃	〃
	52	〃	〃
	53	〃	〃
	54	〃	〃
	55	模擬練習問題4でのトレーニング	〃
	56	〃	〃
	57	〃	〃
	58	〃	〃
	59	〃	〃
	60	〃	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Excel実習

W	時間	授業内容	授業方法
	61	模擬練習問題5でのトレーニング	プロジェクターに投影し、実際に作成手順を一緒に行う
	62	〃	〃
	63	〃	〃
	64	〃	〃
	65	〃	〃
	66	〃	〃
	67	実力判定テスト(1回目)	〃
	68	〃	〃
	69	〃	〃
	70	〃	〃
	71	〃	〃
	72	〃	〃
	73	実力判定テスト(2回目)	〃
	74	〃	〃
	75	〃	〃
	76	〃	〃
	77	〃	〃
	78	〃	〃
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
PowerPoint実習	必修	54h
対象学科・学年		
イベントビジネス学科1年、事業創造学科1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
鈴木 啓修	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
デジタルサイネージ事業にてプランナーとデザイナーを兼任、デジタルコンテンツ制作を担当した。 パッケージ印刷事業にてデザイナーを任せられ、パッケージデザインや内容校正・色校正を担当した。	

(3) 授業概要

<p>プレゼンテーション資料作成ソフトの世界標準であるMicrosoftPowerPointにてプレゼン資料作成に必要な並一通りの操作方法を伝える。 基本的にMOSの問題集に沿って授業を進めていく。同時に、現場での主流となるパワポ使用方法、ショートカットなどを踏まえた効率的な資料作成方法も交えて教えていく。 また、授業の最後にプレゼン大会を開く。それに向けて後半ではプレゼンターとしての心得や技術も実習を通して教育していく。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>パワポ技術習得を証明する国際ライセンス“Microsoft Office Specialist PowerPoint 2016”合格。 パワポを使って任意のプレゼン資料を作成できる。 作成したプレゼン資料を使って人前でプレゼンを行うことができる。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>科目総時間数の80%以上の出席を前提とし、普段の授業の取り組み姿勢、検定結果を総合的に判断し、評価する。</p>

(6) 使用教材・教具

<p>日経BP社 MOS攻略問題集Word2016エキスパート、PC、プロジェクター、テレビ電話ツール</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p>MOS検定合格が最重要課題であるものの、そもそもプレゼン資料作成技術の習得こそが目的であるため、授業最後のプレゼン大会に向けてプレゼン資料の構成やデザインの是非を問う感覚も養う必要がある。</p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 PowerPoint実習

W	時間	授業内容	授業方法
前1	1	授業進行、評価方法の説明、自己紹介オリテ	講義
	2	パワポとは？MOSとは？プレゼンとは？	講義
	3	パワポで自己紹介スライドショー	レクリエーション
前2	4	テキスト範囲：1-1	実習
	5	テキスト範囲：1-2	実習
	6	テキスト範囲：5-1-1～1-4	実習
前3	7	テキスト範囲：1-3	実習
	8	テキスト範囲：2-1	実習
	9	テキスト範囲：2-2	実習
前4	10	テキスト範囲：2-3	実習
	11	テキスト範囲：2-4	実習
	12	テキスト範囲：3-1	実習
前5	13	テキスト範囲：3-2	実習
	14	テキスト範囲：3-3	実習
	15	テキスト範囲：3-4	実習
前6	16	テキスト範囲：4-2	実習
	17	テキスト範囲：4-3-3～4-1	実習
	18	テキスト範囲：4-3-1～1-7	実習
前7	19	テキスト範囲：5-1-3～5-1-2	実習
	20	テキスト範囲：1-6～1-5-3	実習
	21	テキスト範囲：5-2	実習
前8	22	模擬試験	テスト
	23	模擬試験	テスト
	24	模擬試験	テスト
前9	25	プレゼンのコツについて	講義
	26	プレゼン：自分の好物、趣味について	スライド制作・プレゼンテーション
	27	プレゼン：自分の好物、趣味について	スライド制作・プレゼンテーション
前10	28	プレゼン：すべての授業をゲームにしよう	グループワーク：ブレインストーミング
	29	プレゼン：すべての授業をゲームにしよう	スライド制作・プレゼンテーション
	30	プレゼン：すべての授業をゲームにしよう	スライド制作・プレゼンテーション

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 PowerPoint実習

W	時間	授業内容	授業方法
前11	31	プレゼン:プレゼンで相手に上手く伝えるには	グループワーク:ブレインストーミング
	32	プレゼン:プレゼンで相手に上手く伝えるには	スライド制作・プレゼンテーション
	33	プレゼン:プレゼンで相手に上手く伝えるには	スライド制作・プレゼンテーション
前12	34	プレゼン:プレゼンで相手に上手く伝えるには	スライド制作・プレゼンテーション
	35	プレゼン:プレゼンで相手に上手く伝えるには	スライド制作・プレゼンテーション
	36	プレゼン:プレゼンで相手に上手く伝えるには	スライド制作・プレゼンテーション
前13	37	プレゼン:新潟を盛り上げる企画	グループワーク:ブレインストーミング
	38	プレゼン:新潟を盛り上げる企画	リサーチ・スライド制作
	39	プレゼン:新潟を盛り上げる企画	リサーチ・スライド制作
前14	40	プレゼン:新潟を盛り上げる企画	リサーチ・スライド制作
	41	プレゼン:新潟を盛り上げる企画	リサーチ・スライド制作
	42	プレゼン:新潟を盛り上げる企画	リサーチ・スライド制作
前15	43	プレゼン:新潟を盛り上げる企画	プレゼンテーション
	44	プレゼン:新潟を盛り上げる企画	プレゼンテーション
	45	プレゼン:新潟を盛り上げる企画	プレゼンテーション
前16	46	模擬試験	テスト
	47	模擬試験	テスト
	48	模擬試験	テスト
前17	49	模擬試験	テスト
	50	模擬試験	テスト
	51	模擬試験	テスト
前18	52	模擬試験	テスト
	53	模擬試験	テスト
	54	模擬試験	テスト
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
WEBデザイン基礎	必修	36h
対象学科・学年		
イベントビジネス学科1年、事業創造学科1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
鈴木 啓修	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
デジタルサイネージ事業にてプランナーとデザイナーを兼任、デジタルコンテンツ制作を担当した。 パッケージ印刷事業にてデザイナーを任せられ、パッケージデザインや内容校正・色校正を担当した。	

(3) 授業概要

<ul style="list-style-type: none"> ・現状の様々なWEBを活用したサービスやeコマースをリサーチし、WEBの全体像を概観する。 ・WEBデザインを通してデザインの概要と流行、歴史を学び、デザインのやり方を学ぶ。 ・WEBサービスやWEBサイトの制作における、基礎的な概念や制作業務の工程を学ぶ。 ・WEBリテラシーをマスターするため、HTML/CSSを学びホームページを制作する。 ・HTML/CSSを用いて自身が魅力的と感じるホームページを模倣して自作する。 <p>※エディターとして「メモ帳」を利用する。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・WEBサービス、WEBサイトの担当者としての業務を行うことができるようになることが目標。企画、作業工程管理や各種業者とのやり取り、必要な書類・法律などについて学ぶ。 ・WEBリテラシーをマスターするため、HTML/CSSを学び、初歩的なホームページ作成ができるようになることが目標。 ・WEBデザインを通して情報の組み立て方を学び、汎用的なデザイン能力を身につけさせるのが目的。 ・現状の様々なWEBを活用したサービスやeコマースをリサーチし、WEBの長所・短所を学ぶ。

(5) 成績評価方法・基準

<p>科目総時間数の80%以上の出席を前提とし、 個人、グループでの制作物のクオリティ:90% 日頃の授業態度:10%</p>

(6) 使用教材・教具

各自のノートPC、プロジェクター、テレビ電話ツール

(7) 授業にあたっての留意点

<p>先端分野のため、授業内外に関わらず、WEB情勢についてアンテナを張るようにする。 デザインの学習も授業の目的の一つであるため、PinterestなどをDLさせて日常的に利用させる。</p>

(8) その他

--

【別紙】

授業計画書

科目名 WEBデザイン基礎

W	時間	授業内容	授業方法
後1	1	授業の内容、目的など概要について	講義:事例を通して、Webと社会の関連性を説明
	2	世の中の「なぜ」を調べる	リサーチをする
	3	パラダイムシフトの事例を調べる	リサーチをする
後2	4	WEBサイトの仕組み	講義
	5	WEBを活用したサービスについてリサーチ	リサーチをする
	6	eコマースについてリサーチ	リサーチをする
後3	7	SNSの現状について	講義
	8	SNSの活用方法について	グループ・ディスカッション
	9	SNSの活用方法について	グループ・ディスカッション
後4	10	デザイン制作およびWEBサイト制作の流れ	講義
	11	デザイン制作およびWEBサイト制作の流れ	講義
	12	WEB制作方法-プログラミング	実習 (HTML,CSS)
後5	13	WEB制作方法-プログラミング	実習 (HTML,CSS)
	14	WEB制作方法-プログラミング	実習 (HTML,CSS)
	15	WEB制作方法-プログラミング	実習 (HTML,CSS)
後6	16	WEB制作方法-プログラミング	実習 (HTML,CSS)
	17	WEB制作方法-プログラミング	実習 (HTML,CSS)
	18	WEB制作方法-プログラミング	実習 (HTML,CSS)
後7	19	WEB制作方法-プログラミング	実習 (HTML,CSS)
	20	WEB制作方法-プログラミング	実習 (HTML,CSS)
	21	WEB制作方法-プログラミング	実習 (HTML,CSS)
後8	22	WEB制作方法-コンテンツ	講義(映像関連)
	23	WEB制作方法-見せ方	講義(グラフィック関連)
	24	WEBサイト制作体験 - アイデア出し	グループ制作 - ブレスト
後9	25	WEBサイト制作体験 - イメージ作成	グループ制作 - イメージ作成
	26	WEBサイト制作体験 - イメージ作成	グループ制作 - イメージ作成
	27	WEBサイト制作体験 - イメージ作成	グループ制作 - イメージ作成
後10	28	WEBサイト制作体験 - 実制作	グループ制作 - 実制作
	29	WEBサイト制作体験 - 実制作	グループ制作 - 実制作
	30	WEBサイト制作体験 - 実制作	グループ制作 - 実制作

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 WEBデザイン基礎

W	時間	授業内容	授業方法
後11	31	WEBサイト制作体験 - 実制作	グループ制作 - 実制作
	32	WEBサイト制作体験 - 実制作	グループ制作 - 実制作
	33	WEBサイト制作体験 - 実制作	グループ制作 - 実制作
後12	34	プレゼンテーション&ディスカッション	グループごとにプレゼン、全体でディスカッション
	35	プレゼンテーション&ディスカッション	グループごとにプレゼン、全体でディスカッション
	36	プレゼンテーション&ディスカッション	グループごとにプレゼン、全体でディスカッション
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
Web実習	必修	54h
対象学科・学年		
イベントビジネス学科2年、事業創造学科2年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
鈴木 啓修	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
デジタルサイネージ事業にてプランナーとデザイナーを兼任、デジタルコンテンツ制作を担当した。 パッケージ印刷事業にてデザイナーを任せられ、パッケージデザインや内容校正・色校正を担当した。	

(3) 授業概要

<ul style="list-style-type: none"> ・現状の様々なWEBを活用したサービスを改めてリサーチし、WEBの全体像を概観する。 ・各種WEBシステムやWEBサービスの作成方法、受注から納品までの流れを実習を通して学ぶ。 ・WEBコンテンツの作り方、またそのデザイン手法について学ぶ。 <p>※エディターとして「visual studio code」を利用する。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・WEBに関するビジネスの立ち上げや運用計画などを考案したり、技術者や制作業者とのやり取りなどができるようになること。 ・WEBの有効なコンテンツの構築力、またそれを表現するデザイン力を身に着ける。
--

(5) 成績評価方法・基準

科目総時間数の80%以上の出席を前提とし、 個人、グループでの制作物のクオリティ:90% 日頃の授業態度:10%

(6) 使用教材・教具

各自のノートPC、プロジェクター、テレビ電話ツール

(7) 授業にあたっての留意点

先端分野のため、授業内外に関わらず、WEB情勢についてアンテナを張るようにする。
--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 WEB実習

W	時間	授業内容	授業方法
前1	1	授業の内容、目的など概要について	講義+C1
	2	ヒアリングシートの作成+修正	講義+実習+個別対応+C1/C2
	3	ヒアリングシートの作成+修正	講義+実習+個別対応+C1/C2
前2	4	ヒアリングシートの作成+修正	講義+実習+個別対応+C3
	5	ヒアリングシートの作成+修正	講義+実習+個別対応+C3
	6	ヒアリングシートの作成+修正	講義+実習+個別対応+C3
前3	7	ヒアリングシートの作成+修正	講義+実習+個別対応+C3/C4
	8	ヒアリングシートの作成+修正	講義+実習+個別対応+C3/C4
	9	ヒアリングシートの作成+修正	講義+実習+個別対応+C3/C4
前4	10	ヒアリングシートの作成+修正	講義+実習+個別対応+C5
	11	ヒアリングシートの作成+修正	講義+実習+個別対応+C5
	12	ヒアリングシートの作成+修正	講義+実習+個別対応+C5
前5	13	サイトマップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C6/C7
	14	サイトマップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C6/C7
	15	サイトマップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C6/C7
前6	16	サイトマップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C6/C7/C8
	17	サイトマップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C6/C7/C8
	18	サイトマップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C6/C7/C8
前7	19	サイトマップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C6/C7/C8
	20	サイトマップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C6/C7/C8
	21	サイトマップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C6/C7/C8
前8	22	ワイヤーフレームの作成+修正	講義+実習+個別対応+C9
	23	ワイヤーフレームの作成+修正	講義+実習+個別対応+C9
	24	ワイヤーフレームの作成+修正	講義+実習+個別対応+C9
前9	25	ワイヤーフレームの作成+修正	講義+実習+個別対応+C10
	26	ワイヤーフレームの作成+修正	講義+実習+個別対応+C10
	27	ワイヤーフレームの作成+修正	講義+実習+個別対応+C10
前10	28	ワイヤーフレームの作成+修正	講義+実習+個別対応+C11
	29	ワイヤーフレームの作成+修正	講義+実習+個別対応+C11
	30	ワイヤーフレームの作成+修正	講義+実習+個別対応+C11

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 WEB実習

W	時間	授業内容	授業方法
前11	31	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C12
	32	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C12
	33	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C12
前12	34	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C13
	35	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C13
	36	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C13
前13	37	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C14
	38	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C14
	39	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C14
前14	40	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C15
	41	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C15
	42	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C15
前15	43	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C16
	44	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C16
	45	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C16
前16	46	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C17
	47	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C17
	48	ラフデザイン～モックアップの作成+修正	講義+実習+個別対応+C17
前17	49	プレゼンテーション	プレゼンテーション+総評
	50	プレゼンテーション	プレゼンテーション+総評
	51	プレゼンテーション	プレゼンテーション+総評
前18	52	プレゼンテーション	プレゼンテーション+総評
	53	プレゼンテーション	プレゼンテーション+総評
	54	プレゼンテーション	プレゼンテーション+総評
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
Word実習	必修	69
対象学科・学年		
イベントビジネス学科1年、事業創造学科1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
窪田 浩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>Wordの操作技術の基本を身に付け、おおよそビジネスで必要とされる基本的操作を身につけるための授業。Excelの基本的な使い方はもちろん、表、画像、オブジェクトの挿入など基本的なことを習得していく。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

MOS(Word2016)の合格

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%を前提として、確認テストや模擬問題の得点とその完成度を含めて評価する

(6) 使用教材・教具

MOS攻略問題集Word2016、ノートパソコン

(7) 授業にあたっての留意点

ノートパソコンには、Windows10及びOffice2016の日本語版がインストールされていること
--

(8) その他

特に無し

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 Word実習

W	時間	授業内容	授業方法
	1	Wordの使い方の概要説明、リボンの構成	プロジェクター投影と説明にて実施
	2	第1章 文書を作成する	プロジェクターに投影し、実際に作成手順を一緒に行う
	3	第1章 文書を移動する	"
	4	第1章 文書の書式を設定する	"
	5	第1章 文書のオプションと表示をカスタマイズする	"
	6	第1章 文書を印刷する、保存する	"
	7	第2章 文字列や段落を挿入する	"
	8	"	"
	9	第2章 文字列や段落の書式を設定する	"
	10	"	"
	11	第2章 文字列や段落を並べ替える、グループかする	"
	12	"	"
	13	第3章 表を作成する	"
	14	"	"
	15	第3章 表を変更する	"
	16	"	"
	17	第3章 リストを作成する、変更する	"
	18	"	"
	19	第4章 参照のための情報や記号を作成する、管理する	"
	20	"	"
	21	"	"
	22	第4章 標準の参考資料を作成する、管理する	"
	23	"	"
	24	"	"
	25	第5章 グラフィック要素を挿入する	"
	26	"	"
	27	第5章 グラフィック要素を書式設定する	"
	28	"	"
	29	"	"
	30	"	"

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Word実習

W	時間	授業内容	授業方法
	31	第5章 SmartArtを挿入する、書式設定する	〃
	32	模擬練習問題1でのトレーニング	個人トレーニング、巡回しながら不明点の指導
	33	〃	〃
	34	〃	〃
	35	〃	〃
	36	〃	〃
	37	模擬練習問題2でのトレーニング	〃
	38	〃	〃
	39	〃	〃
	40	〃	〃
	41	〃	〃
	42	〃	〃
	43	模擬練習問題3でのトレーニング	〃
	44	〃	〃
	45	〃	〃
	46	〃	〃
	47	〃	〃
	48	〃	〃
	49	模擬練習問題4でのトレーニング	〃
	50	〃	〃
	51	〃	〃
	52	〃	〃
	53	〃	〃
	54	〃	〃
	55	模擬練習問題5でのトレーニング	個人トレーニング、巡回しながら不明点の指導
	56	〃	〃
	57	〃	〃
	58	〃	〃
	59	〃	〃
	60	〃	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 Word実習

W	時間	授業内容	授業方法
	61	FOM問題集 模擬テスト1	〃
	62	〃	〃
	63	〃	〃
	64	FOM問題集 模擬テスト2	〃
	65	〃	〃
	66	〃	〃
	67	FOM問題集 模擬テスト3	〃
	68	〃	〃
	69	〃	〃
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
グローバル戦略論	必修	33
対象学科・学年		
事業創造学科 2年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
富山 栄子	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
総合商社勤務、地元テレビ局通訳、解説、法廷通訳	

(3) 授業概要

モノ・サービスの売り方、売るために何を考えていくのかの基本的な部分を学ぶ。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

マーケティングの基礎を学び、世の中のモノ・サービスがどのように売り出されているのかを把握し、理解する。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

補助プリント、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 グローバル戦略論

W	時間	授業内容	授業方法
	1	講義概要・進め方の説明とグローバル・マーケティングとは何か	テキスト、プロジェクターを使った講義
	2	企業活動のグローバル化	テキスト、プロジェクターを使った講義
	3	企業活動のグローバル化	テキスト、プロジェクターを使った講義
	4	グローバル・マーケティング戦略の枠組み	テキスト、プロジェクターを使った講義
	5	グローバル・マーケティング戦略の枠組み	テキスト、プロジェクターを使った講義
	6	グローバル・マーケティング戦略の枠組み	テキスト、プロジェクターを使った講義
	7	グローバル・マーケティング・リサーチ	テキスト、プロジェクターを使った講義、ワーク
	8	グローバル・マーケティング・リサーチ	テキスト、プロジェクターを使った講義、ワーク
	9	グローバル・マーケティング・リサーチ	テキスト、プロジェクターを使った講義、ワーク
	10	環境分析	テキストを使った講義、ワーク
	11	環境分析	テキストを使った講義、ワーク
	12	環境分析	テキストを使った講義、ワーク
	13	参入市場の決定	テキスト、プロジェクターを使った講義
	14	参入市場の決定	テキスト、プロジェクターを使った講義
	15	参入市場の決定	テキスト、プロジェクターを使った講義
	16	グローバル市場参入戦略	テキスト、プロジェクターを使った講義
	17	グローバル市場参入戦略	テキスト、プロジェクターを使った講義
	18	グローバル市場参入戦略	テキスト、プロジェクターを使った講義
	19	グローバル統合・調整	テキスト、プロジェクターを使った講義
	20	グローバル統合・調整	テキスト、プロジェクターを使った講義
	21	グローバル統合・調整	テキスト、プロジェクターを使った講義
	22	グローバル・マーケティングの組織	テキスト、プロジェクターを使った講義
	23	グローバル・マーケティングの組織	テキスト、プロジェクターを使った講義
	24	グローバル・マーケティングの組織	テキスト、プロジェクターを使った講義
	25	食品企業のグローバルマーケティングの事例	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク
	26	食品企業のグローバルマーケティングの事例	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク
	27	食品企業のグローバルマーケティングの事例	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク
	28	外食企業の国際展開における「グローバル」の視点	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク
	29	外食企業の国際展開における「グローバル」の視点	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク
	30	外食企業の国際展開における「グローバル」の視点	テキスト、プロジェクターを使った講義・ワーク

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
コミュニケーション	必修	51h
対象学科・学年		
イベントビジネス学科1年、事業創造学科1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
鈴木 啓修	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
デジタルサインージ事業にてプランナーとデザイナーを兼任、デジタルコンテンツ制作を担当した。 パッケージ印刷事業にてデザイナーを任せられ、パッケージデザインや内容校正・色校正を担当した。	

(3) 授業概要

<p>コミュニケーション検定 公式ガイドブック&問題集に基づき、コミュニケーションを学ぶ。 ビジネスに必要なコミュニケーションはもちろん、学生生活において円滑にコミュニケーションが取れるように、具体例なども交えながら、クラス内でディスカッションも含めコミュニケーションについて考察する。 過去問題も取り組み、検定試験に備える。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>コミュニケーション検定の合格。 ビジネスに必要なコミュニケーション力、円滑に学生生活を送るために必要なコミュニケーション力の習得。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>科目総時間数の80%以上の出席を前提とし、習熟度:90% 日頃の授業態度:10%</p>

(6) 使用教材・教具

<p>テキスト(コミュニケーション検定 公式ガイドブック&問題集)、過去問題プリント</p>
--

(7) 授業にあたっての留意点

<p>すでに学生自身が理解している点も多いが、ビジネスにおいてコミュニケーションは非常に重要なため、改めてその重要性を認識し、より高いコミュニケーションを身に付けて欲しい。</p>
--

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 コミュニケーション

W	時間	授業内容	授業方法
前2	1	コミュニケーションの持つ力について	講義と演習
	2	コミュニケーションの持つ力について	講義と演習
	3	コミュニケーションの持つ力について	講義と演習
前3	4	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	講義と演習
	5	コミュニケーションを考える	講義と演習
	6	コミュニケーションを考える	講義と演習
前4	7	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	8	聞く力 目的に即して聴く	講義と演習
	9	聞く力 目的に即して聴く	講義と演習
前5	10	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	11	聞く力 傾聴・質問する	講義と演習
	12	聞く力 傾聴・質問する	講義と演習
前6	13	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	14	話す力 目的を意識する	講義と演習
	15	話す力 目的を意識する	講義と演習
前7	16	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	17	話す力 話を組み立てる	講義と演習
	18	話す力 話を組み立てる	講義と演習
前8	19	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	20	話す力 ことばを選び抜く	講義と演習
	21	話す力 ことばを選び抜く	講義と演習
前9	22	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	23	話す力 表現・伝達する	講義と演習
	24	話す力 表現・伝達する	講義と演習
前10	25	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	26	コミュニケーション・プラクティス 来客応対	講義と演習
	27	コミュニケーション・プラクティス 電話応対	講義と演習
前11	28	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	29	コミュニケーション・プラクティス アポイント	講義と演習
	30	コミュニケーション・プラクティス 訪問・挨拶	講義と演習

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 コミュニケーション

W	時間	授業内容	授業方法
前12	31	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	32	コミュニケーション・プラクティス 情報共有	講義と演習
	33	コミュニケーション・プラクティス 訪問・挨拶	講義と演習
前13	34	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	35	コミュニケーション・プラクティス チーム	講義と演習
	36	応用 接客・営業	講義と演習
前14	37	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	38	応用 接客・営業	講義と演習
	39	応用 クレーム対応	講義と演習
前15	40	レクリエーション 不特定多数とのコミュニケーション	レクリエーションの説明 実践
	41	応用 会議・取材・ヒアリング	講義と演習
	42	応用 面接	講義と演習
前16	43	試験対策 過去問題	過去問題に取り組む
	44	試験対策 過去問題	過去問題に取り組む
	45	試験対策 過去問題	過去問題に取り組む
前17	46	試験対策 過去問題	過去問題に取り組む
	47	試験対策 過去問題	過去問題に取り組む
	48	試験対策 過去問題	過去問題に取り組む
前18	49	試験対策 過去問題	過去問題に取り組む
	50	試験対策 過去問題	過去問題に取り組む
	51	試験対策 過去問題	過去問題に取り組む
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
パソコン基礎	必修	28h
対象学科・学年		
イベントビジネス学科1年、事業創造学科1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
鈴木 啓修	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
デジタルサイン事業にてプランナーとデザイナーを兼任、デジタルコンテンツ制作を担当した。 パッケージ印刷事業にてデザイナーを任せられ、パッケージデザインや内容校正・色校正を担当した。	

(3) 授業概要

<p>PCの基本的な知識としてハードウェアとソフトウェアの両面を学習する。 ハードウェアとしては、CPUやメモリといったPCの構成についての知識、起動と停止、HDDとSSDの学習。 ソフトウェアとしては、WindowsやMacといったOSの知識、ファイルやフォルダやパスなどの概念の学習。 それら諸々をキーボード入力とマウス操作といったPCの基本操作方法を通して学習していく。 また、そういった基本操作に加えて、初歩的なショートカットキーも交えてPCを操作させる。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・PC製品のスペック表を見てどんなレベルの製品なのかを理解できる。 ・OSって何？と聞かれて何を行うシステムなのかを説明できる。 ・各種ファイルをフォルダで整理整頓でき、どこに何があるのかをパスで理解できる。 ・マウスとキーボードを使ってファイルやフォルダ、エクスプローラーやタスクバーを操作できる。 ・ブラインドタッチができる。 ・ショートカットキーを使って「戻る」「コピー＆ペースト」「保存する」「フォルダを作成する」「印刷する」「全選択」「タスクを切り替える」「デスクトップに戻る」「エクスプローラーを起動させる」などの操作ができる。

(5) 成績評価方法・基準

科目総時間数の80%以上の出席を前提とし、授業に取り組む姿勢、実力テストの点数、提出物の内容を総合的に判断して評価する。
--

(6) 使用教材・教具

各自PC、テキスト

(7) 授業にあたっての留意点

昨今の学生はプライベートでPCを所有しておらず、操作の勉強も学校での授業に終始しているため、文字通り基礎の基礎から学ばせる必要がある。

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 パソコン基礎

W	時間	授業内容	授業方法
前2	1	授業進行、評価方法の説明、自己紹介オリテ	講義
	2	PCって何？ ムーアの法則を交えて	講義
前3	3	パソコンのスペックって？	講義+実習
	4	パソコンのスペックって？	講義+実習
前4	5	圧縮と解凍って？	講義+実習
	6	送付データを解凍・データを圧縮して送ろう	講義+実習
前5	7	ユーザーインターフェースってなに？	講義+実習
	8	デスクトップ上をカスタマイズしよう	講義+実習
前6	9	署名を付けてビジネスメールを書いてみよう	講義+実習
	10	署名を付けてビジネスメールを書いてみよう	講義+実習
前7	11	ショートカットキーを本格的に学ぼう	講義+実習
	12	ショートカットキーを本格的に学ぼう	講義+実習
前8	13	キーボードだけでPC操作してみよう	講義+実習
	14	キーボードだけでPC操作してみよう	講義+実習
前9	15	ゲームでタイピング練習	講義+実習
	16	ゲームでタイピング練習	講義+実習
前10	17	iTest Net - パソコン一般知識	実力テスト
	18	iTest Net - OS基礎知識	実力テスト
前11	19	ゲームでタイピング練習	講義+実習
	20	ゲームでタイピング練習	講義+実習
前12	21	OpinionStage - パソコン基礎知識テスト	実力テスト
	22	PCRECOMMEND 2020 - パソコン知識クイズ	実力テスト
前13	23	e-typingでタイピング練習	講義+実習
	24	e-typingでタイピング練習	講義+実習
前14	25	パソコン評価能力委員会 - PC操作4級	実力テスト
	26	パソコン評価能力委員会 - タイピング4級	実力テスト
前15	27	P検5級受験	実力テスト
	28	総評	講義
	29		
	30		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
パソコン実務	必修	102
対象学科・学年		
イベントビジネス学科2年、事業創造学科2年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
窪田 浩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>Excel、Wordの操作技術の応用編として、ビジネスで役立つビジネス文書や表計算による分析などができるようパソコン技術を習得していく。</p> <p>主に、全経文書処理検定2級(Word、Excelとも)レベルの問題が作成できるスキルを身に付けていく。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>Excel、Wordなどの各種文書等作成ができる。</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%を前提として、作品の提出、その完成度を含めて評価する</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>ノートパソコン</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p>ノートパソコンには、Windows10及びOffice2016の日本語版がインストールされていること</p>

(8) その他

<p>特に無し</p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 パソコン実務

W	時間	授業内容	授業方法
	1	全経文書処理 ワープロ2級(文書作成)①	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	2	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	3	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	4	全経文書処理 ワープロ2級(入力)①	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	5	全経文書処理 ワープロ2級(知識)①	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	6	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	7	全経文書処理 ワープロ2級(文書作成)②	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	8	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	9	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	10	全経文書処理 ワープロ2級(入力)②	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	11	全経文書処理 ワープロ2級(知識)②	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	12	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	13	全経文書処理 ワープロ2級(文書作成)③	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	14	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	15	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	16	全経文書処理 ワープロ2級(入力)③	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	17	全経文書処理 ワープロ2級(知識)③	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	18	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	19	全経文書処理 ワープロ2級(文書作成)④	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	20	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	21	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	22	全経文書処理 ワープロ2級(入力)④	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	23	全経文書処理 ワープロ2級(知識)④	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	24	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	25	全経文書処理 ワープロ2級(文書作成)⑤	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	26	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	27	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	28	全経文書処理 ワープロ2級(入力)⑤	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	29	全経文書処理 ワープロ2級(知識)⑤	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	30	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 パソコン実務

W	時間	授業内容	授業方法
	31	全経文書処理 ワープロ2級(文書作成)⑥	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	32	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	33	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	34	全経文書処理 ワープロ2級(入力)⑥	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	35	全経文書処理 ワープロ2級(知識)⑥	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	36	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	37	全経文書処理 ワープロ2級(文書作成)⑦	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	38	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	39	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	40	全経文書処理 ワープロ2級(入力)⑦	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	41	全経文書処理 ワープロ2級(知識)⑦	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	42	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	43	全経文書処理 ワープロ2級(文書作成)⑧	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	44	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	45	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	46	全経文書処理 ワープロ2級(入力)⑧	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	47	全経文書処理 ワープロ2級(知識)⑧	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	48	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	49	全経文書処理 ワープロ2級(文書作成)⑨	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	50	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	51	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	52	全経文書処理 ワープロ2級(入力)⑨	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	53	全経文書処理 ワープロ2級(知識)⑨	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	54	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	55	全経文書処理 ワープロ2級(文書作成)⑩	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	56	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	57	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	58	全経文書処理 ワープロ2級(入力)⑩	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	59	全経文書処理 ワープロ2級(知識)⑩	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	60	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 パソコン実務

W	時間	授業内容	授業方法
	61	全経文書処理 表計算2級(実技)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	62	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	63	全経文書処理 表計算2級(筆記)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	64	全経文書処理 表計算2級(実技)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	65	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	66	全経文書処理 表計算2級(筆記)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	67	全経文書処理 表計算2級(実技)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	68	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	69	全経文書処理 表計算2級(筆記)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	70	全経文書処理 表計算2級(実技)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	71	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	72	全経文書処理 表計算2級(筆記)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	73	全経文書処理 表計算2級(実技)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	74	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	75	全経文書処理 表計算2級(筆記)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	76	全経文書処理 表計算2級(実技)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	77	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	78	全経文書処理 表計算2級(筆記)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	79	全経文書処理 表計算2級(実技)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	80	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	81	全経文書処理 表計算2級(筆記)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	82	全経文書処理 表計算2級(実技)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	83	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	84	全経文書処理 表計算2級(筆記)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	85	全経文書処理 表計算2級(実技)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	86	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	87	全経文書処理 表計算2級(筆記)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	88	全経文書処理 表計算2級(実技)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	89	〃	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する
	90	全経文書処理 表計算2級(筆記)	プロジェクトを利用し、作成手順を説明する

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
ビジネスプラン作成	必修	36
対象学科・学年		
事業創造学科2年 国際ビジネスコース		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
山田俊郎・非常勤講師	有り
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
創業者のパートナー・起業支援、内部監査人、MBA教員(中小企業財務・BP作成)	

(3) 授業概要

目の前が、グローバルでダイバーシティ、デジタルでビッグデータ・AI・IoT・電子マネーのネットワークとイノベーション、そしてパーソナルでシェアリング・・・の経済社会であること、そして、その先をどう見通し、どう生きるかを考える機会がいずれ来ることを確認する。身の回りの経済社会の中で、自身と家計・企業活動・金融・政府の関係を確認する。顧客が求める価値を創造する企業のビジネスモデル・儲けのしくみが、金融の信用創造意欲を誘い、経済社会が成り立つという経済循環の知識修得と思考を深める。また、企業は顧客価値となる資源を効率・効果的に調達・開発するため、経営戦略・マーケティング・HRM・生産管理・財務管理のフレームワークがあることを事例で知る。儲けのしくみ・ビジネスモデル案を作成・プレゼンテーションする知識・能力を、卒業後の経済社会(就社・就職・転社・転職・企業内新規事業化・事業立て直し・事業承継などの機会)で活用できるよう醸成し、プランが予測であるため必然的に内在する不確実性を理解し説明しつつ実現可能に近づける力を醸成する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

ビジネスの本質とともに、ビジネスプランの中にある仮説と不確実性を理解すること。

(5) 成績評価方法・基準

事業計画や企画を立案し、その実現性・有効性についてプレゼンテーションと質疑応答、少なくとも既存案を評価するレポートの提出

(6) 使用教材・教具

授業中に配布する資料と板書(場合によりOHP)、メール

(7) 授業にあたっての留意点

企業活動に社長・社員・アルバイトとしてかかわる人、これから志す人

(8) その他

プランをすでに持つ人には、授業と別に相談にのる

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネスプラン作成

W	時間	授業内容	授業方法
	1-2	社会の今と将来、グローバル・ダイバーシティ・デジタル・ビッグデータ・AI・IoT・ものからコトへ・電子マネー・ネットワーク社会、そしてパーソナルでシェアリングなどの説明、事例となぜ？ 今後は？を議論する	講義・事例研究・議論
	3-4	明日と未来の社会がどうなるか、その社会の一員の自分に何が求められ何ができるか、先輩・先駆者の事例や行動を知り、議論する	講義・事例研究・議論
	5-6	見えない社会の先をどう見通し、どう生きる？ 思いでなく志として、自分の生き方・稼ぎ方・家計の立て方・これから3年を見通し、進路と行動・習慣を議論する	講義・事例研究・議論
	7-8	日常ニュースから経済社会のプレイヤー、家計・企業活動・金融・政府の関係、そして今の自分と将来の自分を想像し、その先輩・先駆者を知り議論する	講義・事例研究・議論
	9-10	経済の循環図、とくに企業の顧客価値創造と金融の信用創造の関係を歴史(ユダヤ民族・数字・複式簿記・金利・為替など)を交え修得し、今と将来の自分がその循環のどこにいるか議論する	講義・事例研究・議論
	11-12	既存企業の顧客価値創造のさまざまな仕組み・ビジネスモデル・儲けのしくみを類型化、顧客が求める価値の変遷・価値提供の仕組みの変遷を議論し、ビジネスモデルキャンバスやインフルエンスダイアグラム・要因結果関連図を使うビジネスモデルの描き方を演習する	講義・事例研究・議論・演習
	13-14	顧客価値資源を効率・効果的に調達・開発・加工し、提供する企業活動の戦略構築・マーケティング・HRM・生産／流通管理・キャッシュフローを含む3表と財務／管理会計など主なフレームワークと事例とともに、競合と顧客そして社内間のダイナミクスを知る	講義・事例研究・演習
	15-16	卒業後の新規起業・就職・転職そして企業内新規事業化・事業立て直し・事業後継などキャリア構築と、先駆者の事例を確認する	講義・事例研究・議論
	17-18	ビジネスプラン(計画)とビジネスレポート(実績の報告)の違い、PDCAプロセスの必要性和問題点、プランのプレゼンテーションとその評価基準を議論する	講義・事例研究・議論
	19-21	プランに潜む不確実性・実現可能性の計測のためプランニングプロセスを分解し評価する意義、プラン内容とプレゼンテーションを区別し、主観や感情・あいまいさを排除する意義を議論する	講義・事例研究・議論
	22-24	期待や仮説と結果の区別、儲けを生む要因と結果の関連図・インフルエンスダイアグラムを使いプラン内の仮説を分解、おのおの仮説がもつプレ幅の積み上げが利益がプレ幅となり、プランの実現可能性評価となることを理解し、作成と評価の演習をする	講義・事例研究・演習
	25-27	プランの不確実性・実現可能性評価にやってみる・がベストながらセカンドベストとして、エクセル等を使った机上演習(ケーススタディ)・シミュレーションがあり、各損益項目のプレ幅から最終損益のプレ幅を評価するWHAT-IF分析、最終損益への各損益項目の影響度合いを比較・対策順位を決める感度分析、不確実性をプレ幅だけでなく発生頻度と形状(バラツキ具合、分散か集中・偏りか)から計測するモンテカルロシミュレーションを知る	講義・事例研究・議論
	28-30	プランの利益(儲けのしくみ／儲ける力)のばらつき(不確実性)の認識と把握、金融・信用創造側との交渉プロセス、お金を価値に換える事業と価値をお金で測る金融の間での(囚人)のジレンマを知る	講義・事例研究・議論
	31-33	ビジネス課題発見から、ビジネスプラン作成・プレゼンテーション・実現可能性(不確実性)評価までのプロセスを演習で経験、振り返り、レポート提出	実習・レポート作成
	34-36	起業した人・インキュベーター・メンター・ファンダーの事例を交えた経験を聞き、あるプランの発端とその事業経緯と結果を知り、レポート提出	実習・レポート作成

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
ビジネスプラン作成 I	必修	36
対象学科・学年		
事業創造学科1年 経営ビジネスコース		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
山田俊郎・非常勤講師	有り
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
創業者のパートナー・起業支援、内部監査人、MBA教員(中小企業財務・BP作成)	

(3) 授業概要

目の前が、グローバルでダイバーシティ、デジタルでビッグデータ・AI・IoT・電子マネーのネットワークとイノベーション、そしてパーソナルでシェアリングの経済社会であること、そして、その先をどう見通し、どう生きるかを考える機会がいずれ来ることを確認する。身の回りの経済社会の中で、自身と家計・企業活動・金融・政府の関係を確認する。顧客が求める価値を創造する企業のビジネスモデル・儲けのしくみが、金融の信用創造意欲を誘い、経済社会が成り立つという経済循環の知識修得と思考を深める。また、企業は顧客価値となる資源を効率・効果的に調達・開発するため、経営戦略・マーケティング・HRM・生産管理・財務管理のフレームワークがあることを事例で知る。儲けのしくみ・ビジネスモデル案を作成・プレゼンテーションする知識・能力を、卒業後の経済社会(就社・就職・転社・転職・企業内新規事業化・事業立て直し・事業承継などの機会)で活用できるよう醸成し、プランが予測であるため必然的に内在する不確実性を理解し説明しつつ実現可能に近づける力を醸成する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

ビジネスの本質とともに、ビジネスプランの中にある仮説と不確実性を理解すること。

(5) 成績評価方法・基準

事業計画や企画を立案し、その実現性・有効性についてプレゼンテーションと質疑応答、少なくとも既存案を評価するレポートの提出

(6) 使用教材・教具

授業中に配布する資料と板書(場合によりOHP)、メール

(7) 授業にあたっての留意点

企業活動に社長・社員・アルバイトとしてかかわる人、これから志す人

(8) その他

プランをすでに持つ人には、授業と別に相談にのる

【別紙】

授業計画書

科目名 ビジネスプラン作成 I

W	時間	授業内容	授業方法
	1-2	社会の今と将来、グローバル・ダイバーシティ・デジタル・ビッグデータ・AI・IoT・ものからコトへ・電子マネー・ネットワーク社会、そしてパーソナルでシェアリングなどの説明、事例となぜ？ 今後は？を議論する	講義・事例研究・議論
	3-4	明日と未来の社会がどうなるか、その社会の一員の自分に何が求められ何ができるか、先輩・先駆者の事例や行動を知り、議論する	講義・事例研究・議論
	5-6	見えない社会の先をどう見通し、どう生きる？ 思いでなく志として、自分の生き方・稼ぎ方・家計の立て方・これから3年を見通し、進路と行動・習慣を議論する	講義・事例研究・議論
	7-8	日常ニュースから経済社会のプレイヤー、家計・企業活動・金融・政府の関係、そして今の自分と将来の自分を想像し、その先輩・先駆者を知り議論する	講義・事例研究・議論
	9-10	経済の循環図、とくに企業の顧客価値創造と金融の信用創造の関係を歴史(ユダヤ民族・数字・複式簿記・金利・為替など)を交え修得し、今と将来の自分がその循環のどこにいるか議論する	講義・事例研究・議論
	11-12	既存企業の顧客価値創造のさまざまな仕組み・ビジネスモデル・儲けのしくみを類型化、顧客が求める価値の変遷・価値提供の仕組みの変遷を議論し、ビジネスモデルキャンバスやインフルエンスダイアグラム・要因結果関連図を使うビジネスモデルの描き方を演習する	講義・事例研究・議論・演習
	13-14	顧客価値資源を効率・効果的に調達・開発・加工し、提供する企業活動の戦略構築・マーケティング・HRM・生産／流通管理・キャッシュフローを含む3表と財務／管理会計など主なフレームワークと事例とともに、競合と顧客そして社内間のダイナミクスを知る	講義・事例研究・演習
	15-16	卒業後の新規起業・就職・転職そして企業内新規事業化・事業立て直し・事業後継などキャリア構築と、先駆者の事例を確認する	講義・事例研究・議論
	17-18	ビジネスプラン(計画)とビジネスレポート(実績の報告)の違い、PDCAプロセスの必要性和問題点、プランのプレゼンテーションとその評価基準を議論する	講義・事例研究・議論
	19-21	プランに潜む不確実性・実現可能性の計測のためプランニングプロセスを分解し評価する意義、プラン内容とプレゼンテーションを区別し、主観や感情・あいまいさを排除する意義を議論する	講義・事例研究・議論
	22-24	期待や仮説と結果の区別、儲けを生む要因と結果の関連図・インフルエンスダイアグラムを使いプラン内の仮説を分解、おのおの仮説がもつプレ幅の積み上げが利益がプレ幅となり、プランの実現可能性評価となることを理解し、作成と評価の演習をする	講義・事例研究・演習
	25-27	プランの不確実性・実現可能性評価にやってみる・がベストながらセカンドベストとして、エクセル等を使った机上演習(ケーススタディ)・シミュレーションがあり、各損益項目のプレ幅から最終損益のプレ幅を評価するWHAT-IF分析、最終損益への各損益項目の影響度合いを比較・対策順位を決める感度分析、不確実性をプレ幅だけでなく発生頻度と形状(バラツキ具合、分散か集中・偏りか)から計測するモンテカルロシミュレーションを知る	講義・事例研究・議論
	28-30	プランの利益(儲けのしくみ／儲ける力)のばらつき(不確実性)の認識と把握、金融・信用創造側との交渉プロセス、お金を価値に換える事業と価値をお金で測る金融の間での(囚人)のジレンマを知る	講義・事例研究・議論
	31-33	ビジネス課題発見から、ビジネスプラン作成・プレゼンテーション・実現可能性(不確実性)評価までのプロセスを演習で経験、振り返り、レポート提出	実習・レポート作成
	34-36	起業した人・インキュベーター・メンター・ファンダーの事例を交えた経験を聞き、あるプランの発端とその事業経緯と結果を知り、レポート提出	実習・レポート作成

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
ビジネスプラン作成Ⅱ	必修	75
対象学科・学年		
事業創造学科2年 経営ビジネスコース		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
山田俊郎・非常勤講師	有り
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
創業者のパートナー、起業支援、内部監査人、MBA教員(中小企業財務・BP作成ゼミ)	

(3) 授業概要

目の前が、グローバルでダイバーシティ、デジタルでビッグデータ・AI・IoT・電子マネーのネットワークとイノベーション、そしてパーソナルでシェアリング・・・の経済社会であること、そして、この授業がその先をどう見通し、どう生きるかを考える機会であることを確認する。その経済社会の中で、自身と家計・企業活動・金融・政府の関係を確認し、顧客価値を創造する企業のビジネスモデル・儲けのしくみが、金融の信用創造意欲を誘い・維持し、経済社会が成り立つという周辺知識の修得と思考を深める。また、顧客価値となる経営資源を効率・効果的に調達・開発するための経営戦略・マーケティング・HRM・生産管理・財務管理のフレームワーク活用事例から、ビジネスモデル・儲けのしくみを考える。また、卒業後の就社・就職・転社・転職そして企業内新規事業化・事業立て直し・事業承継などの機会に活用できるよう、ビジネスプラン内のキモとなる仮説とその検証の程度・内在する不確実性とその影響度を説明し、抑制策を提案できる力を醸成する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

ビジネスプランの中にある仮説を検証し、確実性・不確実性を臆さず説明できること。

(5) 成績評価方法・基準

事業計画や企画の実現可能性についてプレゼンテーションと質疑応答、少なくとも既存案の実現可能性を評価するレポートの提出

(6) 使用教材・教具

授業中に配布する紙資料と板書(場合によりOHP)、メール

(7) 授業にあたっての留意点

企業活動に社長・社員・アルバイトとしてかかわる人、これから志す人

(8) その他

プランをすでに持つ人には、授業と別に相談にのる

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ビジネスプラン作成Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
	1-5	社会の今と将来、グローバル・ダイバーシティ・デジタル・ビッグデータ・AI・IoT・ものからコトへ・電子マネー・ネットワーク社会、そしてパーソナルでシェアリングなど・の説明、事例となぜ？今後は？を議論する	講義・事例研究・議論
	6-10	明日と未来の社会がどうなるか、その社会の一員の自分に何が求められ何ができるか、先輩・先駆者の事例や行動を知り、議論する	講義・事例研究・議論
	11-15	見えない社会の先をどう見通し、どう生きる？思いでなく志として、自分の生き方・稼ぎ方・家計の立て方・これから3年を見通し、進路・行動・習慣を議論する	講義・事例研究・議論
	16-20	日常ニュースから経済社会のプレイヤー、家計・企業活動・金融・政府の関係、そして今の自分と将来の自分を想像し、その先輩・先駆者を知り議論する	講義・事例研究・議論
	21-25	経済の循環図、とくに企業の顧客価値創造と金融の信用創造の関係を歴史(ユダヤ民族・数字・複式簿記・金利・為替など)を交え修得し、今と将来の自分がその循環のどこにいるか議論する	講義・事例研究・議論
	26-30	既存企業の顧客価値創造のさまざまな仕組み・ビジネスモデル・儲けのしくみを類型化、顧客が求める価値の変遷・価値提供の仕組みの変遷を議論し、ビジネスモデルキャンバスやインフルエンスダイアグラム・要因結果関連図を使うビジネスモデルの描き方を演習する	講義・事例研究・議論・演習
	31-35	顧客価値となる資源を効率・効果的に調達・開発・加工し、提供する企業活動の戦略構築・マーケティング・HRM・生産／流通管理・キャッシュフローを含む3表と財務／管理会計・など主なフレームワークと事例を知り、競合他社・自社・社内・顧客の間のダイナミクスの中でシミュレーションを試みる	講義・事例研究・演習
	36-40	卒業後の新規起業・就職・転職そして企業内新規事業化・事業立て直し・事業後継などキャリア構築の道を想定し、先駆者の事例を確認する	講義・事例研究・議論
	41-45	ビジネスプラン(計画)とビジネスレポート(実績の報告)の違い、PDCAプロセスの必要性和問題点、プランのプレゼンテーションとその評価基準を議論する	講義・事例研究・議論
	46-50	プランに潜む不確実性・実現可能性の計測のためプランニングプロセスを分解し評価する意義、プレゼンテーションとプラン内容を区別し、主観や感情・あいまいさを排除する意義を議論する	講義・事例研究・議論
	51-55	期待・仮説と結果・事実の区別、儲けを生む要因と結果の関連図・インフルエンスダイアグラムを使いプランにある仮説を分解し、おのおの仮説のブレ幅の積み上げが儲けの仕組み・プランのブレ幅になり、すなわち実現可能性の評価となる演習をする	講義・事例研究・演習
	56-60	プランの不確実性・実現可能性評価には、実行と結果がベストながら、セカンドベストとして、エクセル等を使った机上演習(ケーススタディ)・シミュレーションがあり、各損益項目のブレ幅を予測・入力し最終損益のブレ幅を評価するWHAT-IF分析、各損益項目のブレ幅の最終損益への影響度合いを比較し順位を決め対策する感度分析、各損益項目のブレ幅だけでなく発生頻度と発生形状(バラツキ具合、分散か集中・偏りの程度)から最終損益への影響を計測するモンテカルロシミュレーションを知る	講義・事例研究・議論
	61-66	プランの利益(儲けのしくみ／儲ける力)のバラツキ(不確実性)の認識と、価値創造側と金融・信用創造側との交渉プロセス、事業と金融の間での(囚人の)ジレンマの事例を知る	講義・事例研究・議論
	67-72	ビジネス課題発見から、ビジネスプラン作成・プレゼンテーション・実現可能性(不確実性)評価までのプロセスを演習で経験、振り返りレポートを提出	実習・レポート作成
	73-75	起業した人・インキュベーター・メンター・ファウンダーの事例を交えた経験を聞き、あるいはその当初のビジネスプランと事業経緯を知り、レポートを提出	実習・レポート作成

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
プレゼンテーション	必修	54時間
対象学科・学年		
事業創造学科・イベントビジネス学科 2年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
遠田 孝之	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
教員	

(3) 授業概要

<p>本授業は、プレゼンテーション能力を高めるために、テキストを用いての講義および、発表や発声練習などの実技、グループワークや動画の視聴からの気づきの促しなど、様々な教具と手法を用いて授業を展開していく。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>本授業は、ビジネスにおいて重要視されるコミュニケーション能力の中にあつて、協働するために必要不可欠となるプレゼンテーション能力を高めることを目的としている。そのために、自らのメッセージが相手に伝わるための論理的な流れ、話題作りの仕方。表現手段の一つとなるPowerPointの活用方法。発表者としてあるべき姿勢と発声などを身につける。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、検定の取得状況、平素の授業態度、出席状況、課題の提出状況を総合的に評価する。なかでも中間発表と期末発表の成績を重視(配分は30%)して評価を行う。</p>

(6) 使用教材・教具

<p>テキスト(社会人のための伝える力)、パソコン、筆記用具 (パソコンについては必要な場合、担当者から事前連絡がある)</p>
--

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 プレゼンテーション

W	時間	授業内容	授業方法
前期	1	プレゼンテーションとは	補助プリントを使用しての講義
	2	二つの理解、伝達ゲーム、意図と解釈	テキスト記載のワークショップ(実技)を実施
	3	自分自身の魅力度について	補助プリントを使用して自己分析をおこなう。
前期	4	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	5	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
	6	課題解決型 ワークショップ	情報交流を行い、問題を解決していくグループワークを実施。
前期	7	よい話とは	テキストを用いての講義
	8	自己PRを使って話の構成を考える(主-話-主)	自己PR文を作らせ、発表。これをスマホで撮影。話の構成についてヒントを与えた後再作成を行う。
	9	自己PRを使って話の構成を考える(主-話-主)	
前期	10	テキスト 第2章何を話すのか(話の構成)	テキストを用いての講義と補助プリントを使ってのワーク
	11	テキスト 第2章何を話すのか(話の構成)	テキストを用いての講義と補助プリントを使ってのワーク
	12	テキスト 第2章何を話すのか(話の構成)	テキストを用いての講義と補助プリントを使ってのワーク
前期	13	テキスト 第2章何を話すのか(話の構成)	テキストを用いての講義と補助プリントを使ってのワーク
	14	テキスト 第2章何を話すのか(話の構成)	テキストを用いての講義と補助プリントを使ってのワーク
	15	テキスト 第2章何を話すのか(話の構成)	テキストを用いての講義と補助プリントを使ってのワーク
前期	16	テキスト 第3章どのように話すのか(おとしとつかみ)	テキストを用いての講義と補助プリントを使ってのワーク
	17	テキスト 第3章どのように話すのか(おとしとつかみ)	テキストを用いての講義と補助プリントを使ってのワーク
	18	テキスト 第3章どのように話すのか(おとしとつかみ)	テキストを用いての講義と補助プリントを使ってのワーク
前期	19	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	20	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	21	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
前期	22	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	23	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
	24	中間発表資料作成 (売り込みたいもの)	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
前期	25	中間発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	26	中間発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	27	中間発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
前期	28	テキスト 第4章何を使って話すのか(発声と姿勢)	テキストを用いての講義と補助プリントを使って早口言葉など
	29	テキスト 第4章何を使って話すのか(発声と姿勢)	テキストを用いての講義と補助プリントを使って早口言葉など
	30	テキスト 第4章何を使って話すのか(発声と姿勢)	テキストを用いての講義と補助プリントを使って早口言葉など

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 プレゼンテーション

W	時間	授業内容	授業方法	
前期	31	効果的な視覚資料の作り方	テキストを用いての講義とPCを使つての資料作成	
	11	32	効果的な視覚資料の作り方	テキストを用いての講義とPCを使つての資料作成
		33	効果的な視覚資料の作り方	テキストを用いての講義とPCを使つての資料作成
前期	34	効果的な視覚資料の作り方	テキストを用いての講義とPCを使つての資料作成	
	12	35	効果的な視覚資料の作り方	テキストを用いての講義とPCを使つての資料作成
		36	効果的な視覚資料の作り方	テキストを用いての講義とPCを使つての資料作成
前期	37	どうすれば心が動くか	テキストを用いての講義とプリントを使つてのワークショップ	
	13	38	どうすれば心が動くか	テキストを用いての講義とプリントを使つてのワークショップ
		39	どうすれば心が動くか	テキストを用いての講義とプリントを使つてのワークショップ
前期	40	どうすれば心が動くか	テキストを用いての講義とプリントを使つてのワークショップ	
	14	41	どうすれば心が動くか	動画の上映
		42	どうすれば心が動くか	動画の上映と感想
前期	43	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。	
	15	44	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
		45	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
前期	46	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。	
	16	47	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
		48	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
前期	49	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。	
	17	50	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
		51	期末発表資料作成（売り込みたいものⅡ）	自分が売り込みたいものを決め、ワークシートとパワーポイントで資料を作成。
前期	52	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。	
	18	53	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
		54	期末発表	発表を行う。発表待ちの学生はプレゼンシートを記入。
	55			
	56			
	57			
	58			
	59			
	60			

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
マーケティング	必修	30
対象学科・学年		
事業創造学科 2年 国際ビジネスコース		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
窪田 浩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

本講義ではマーケティングの基本概念、フレームワークを理解するとともに、普段、日常生活で接している商品・サービスなどの具体的な事例を通じて、「何故、この商品・サービスは売れたのか」「何故、この商品は短命に終わったのか」など、日常生活や社会の中で、どのような形でマーケティングの考え方が活用されているか、身近な問題をマーケティング的な発想から解き明かしていく。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

マーケティングの基礎を学び、どのような形でマーケティングの考え方が活用されているか、マーケティング的な思考やものの見方を通じて、マーケティングに関する理解と応用力を深めることを目的とする。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

補助プリント、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 マーケティング

W	時間	授業内容	授業方法
	1	ヒット商品ランキングの変遷と得られる示唆	補助プリント使った講義
	2	マーケティングの目的と基本構造	補助プリント使った講義
	3	マーケティングの進化と市場セグメンテーション	補助プリント使った講義
	4	ターゲティングとマーケティングアプローチ	補助プリント使った講義
	5	ポジショニングと顧客データ活用事例	補助プリント使った講義
	6	マーケティングリサーチとマーケティングデータ	補助プリント使った講義
	7	製品政策と新製品開発アプローチ	補助プリント使った講義
	8	製品選択における消費者行動モデル	補助プリント使った講義・ワーク
	9	ブラインドテストと活用方法	缶コーヒーテイスティングを使った実習
	10	価格政策と価格設定アプローチ	補助プリント使った講義
	11	プライシングと損益分岐点分析	補助プリント使った講義・ワーク
	12	日本の流通構造の特徴と業種・業態	補助プリント使った講義・ワーク
	13	流通政策の基本的な考え方	補助プリント使った講義
	14	小売業と出店政策	補助プリント使った講義
	15	消費者行動②とコミュニケーション政策	補助プリント使った講義・ワーク
	16	プロモーション政策とクロスメディア	補助プリント使った講義
	17	マーケティングケーススタディ	補助プリント使ったケーススタディ・ワーク
	18	マーケティングケーススタディ解説	補助プリント使ったケーススタディ解説
	19	消費者採用プロセスと製品の普及	補助プリント使った講義
	20	プロダクトライフサイクルとマーケティングミックス	補助プリント使った講義
	21	製品市場マトリックスと成長戦略	補助プリント使った講義
	22	競争の基本戦略	補助プリント使った講義
	23	逆転の競争戦略	補助プリント使った講義
	24	顧客満足の構造とマーケティング	補助プリント使った講義
	25	付加価値構造の変化とブランド戦略	補助プリント使った講義
	26	ブランドエクイティとブランドマネジメント	補助プリント使った講義
	27	不確実性の時代のマーケティング	補助プリント使った講義
	28	価値共創、ユーザーイノベーション	補助プリント使った講義
	29	最終テスト	プリントによるテスト
	30	最終テスト	プリントによるテスト

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
マーケティング	必修	30
対象学科・学年		
イベントビジネス学科・事業創造学科、オフィスビジネス学科 1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
五月女 政義	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
メーカーから流通・サービス業に至るまで幅広い分野で戦略ビジョン、中期計画、中長期事業戦略/ビジネスモデル革新、新規事業戦略などに関する戦略コンサルティングを行っている。	

(3) 授業概要

<p>本講義ではマーケティングの基本概念、フレームワークを理解するとともに、普段、日常生活で接している商品・サービスなどの具体的な事例を通じて、「何故、この商品・サービスは売れたのか」「何故、この商品は短命に終わったのか」など、日常生活や社会の中で、どのような形でマーケティングの考え方が活用されているか、身近な問題をマーケティング的な発想から解き明かしていく。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>マーケティングの基礎を学び、どのような形でマーケティングの考え方が活用されているか、マーケティング的な思考やものの見方を通じて、マーケティングに関する理解と応用力を深めることを目的とする。</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①最終テスト ②意欲、授業態度 を5:5の比率で総合的に評価する。</p>

(6) 使用教材・教具

<p>補助プリント、筆記用具</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 マーケティング

W	時間	授業内容	授業方法
	1	ヒット商品ランキングの変遷と得られる示唆	補助プリント使った講義
	2	マーケティングの目的と基本構造	補助プリント使った講義
	3	マーケティングの進化と市場セグメンテーション	補助プリント使った講義
	4	ターゲティングとマーケティングアプローチ	補助プリント使った講義
	5	ポジショニングと顧客データ活用事例	補助プリント使った講義
	6	マーケティングリサーチとマーケティングデータ	補助プリント使った講義
	7	製品政策と新製品開発アプローチ	補助プリント使った講義
	8	製品選択における消費者行動モデル	補助プリント使った講義・ワーク
	9	ブラインドテストと活用方法	缶コーヒーテイスティングを使った実習
	10	価格政策と価格設定アプローチ	補助プリント使った講義
	11	プライシングと損益分岐点分析	補助プリント使った講義・ワーク
	12	日本の流通構造の特徴と業種・業態	補助プリント使った講義・ワーク
	13	流通政策の基本的な考え方	補助プリント使った講義
	14	小売業と出店政策	補助プリント使った講義
	15	消費者行動②とコミュニケーション政策	補助プリント使った講義・ワーク
	16	プロモーション政策とクロスメディア	補助プリント使った講義
	17	マーケティングケーススタディ	補助プリント使ったケーススタディ・ワーク
	18	マーケティングケーススタディ解説	補助プリント使ったケーススタディ解説
	19	消費者採用プロセスと製品の普及	補助プリント使った講義
	20	プロダクトライフサイクルとマーケティングミックス	補助プリント使った講義
	21	製品市場マトリックスと成長戦略	補助プリント使った講義
	22	競争の基本戦略	補助プリント使った講義
	23	逆転の競争戦略	補助プリント使った講義
	24	顧客満足の構造とマーケティング	補助プリント使った講義
	25	付加価値構造の変化とブランド戦略	補助プリント使った講義
	26	ブランドエクイティとブランドマネジメント	補助プリント使った講義
	27	不確実性の時代のマーケティング	補助プリント使った講義
	28	価値共創、ユーザーイノベーション	補助プリント使った講義
	29	最終テスト	プリントによるテスト
	30	最終テスト	プリントによるテスト

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
異文化研究	必修／選択	58
対象学科・学年		
全学科・1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
各コース(ハワイ／シンガポール／台湾)の引率担当者	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>上記3コースの中から学生が選択した都市への訪問が主目的となる。訪問する国や都市に関して事前に情報収集を行い、滞在中の行動計画もグループ単位で作成する。また、所属する学科と関連するテーマをグループごとに設定し、事前研究や現地でのリサーチを行う。帰国後は振り返りを行い、その内容を発表する。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>当校の運営理念である「世界的視野を持った学生の輩出」が目標となる。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>出席率、授業態度(現地滞在中の行動も含む)、グループワークへの貢献度、提出課題や発表の内容などを総合的に判断する。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>NBC作成の独自教材、業者から配布される資料等</p>

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 異文化研究

W	時間	授業内容	授業方法
後1	1	異文化研究、海外研修の目的、概要など	講義(引率担当者による説明)
後2	2	国の概要調べ	グループワーク
後3	3	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
後4	4	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
後5	5	行動計画作成	グループワーク
後6	6	行動計画作成	グループワーク
後8	7	行動計画作成	グループワーク
後9	8	レンタル品、保険に関して	レンタル業者、保険代理店によるプレゼン
後10	9	会話の基礎	グループワーク
後11	10	留学生交流会	ゲスト(留学生)との会話
後12	11	旅行会社担当者あいさつ・注意事項確認	旅行会社の添乗担当者による説明
後13	12	行動計画最終詰め、出発前最終確認	講義(引率担当者による説明)
海 外 研 修 週	13	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	14	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	15	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	16	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	17	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	18	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	19	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	20	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	21	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	22	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	23	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	24	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	25	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	26	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	27	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	28	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	29	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	30	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 異文化研究

W	時間	授業内容	授業方法
海外 研 修 週	31	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	32	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	33	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	34	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	35	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	36	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	37	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	38	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	39	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	40	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	41	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	42	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	43	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	44	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	45	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	46	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	47	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	48	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	49	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	50	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	51	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	52	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	53	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	54	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	55	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
後14	56	グループ発表の準備	グループワーク
後15	57	グループ発表の準備	グループワーク
後16	58	振り返り授業(グループ発表)	学生によるプレゼンテーション

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
課外研修活動 I	必修	48時間
対象学科・学年		
イベントビジネス学科・1年／事業創造学科・1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

1年次に学校内外で実施される各種研修、イベント等を包括的に一つの科目とみなし、単位認定する。
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

学校運営理念である「誠実、明朗、進取の精神をもった、チャレンジ精神旺盛な社会人を育成する」ことを到達目標とし、実施される研修、イベントのすべてがその土台となるものとする。

(5) 成績評価方法・基準

出席を最も重要視し、各内容への貢献度、参加姿勢などを加味して評価する。

(6) 使用教材・教具

--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 課外研修活動 I

W	時間	授業内容	授業方法
オリテ	1	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	2	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	3	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	4	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	5	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	6	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	7	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	8	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	9	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	10	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	11	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	12	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	13	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	14	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	15	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
前4	16	避難訓練	避難経路、避難場所確認
前13	17	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	18	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	19	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	20	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	21	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	22	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	23	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	24	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
調整	25	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	26	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	27	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	28	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	29	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	30	スポーツ大会	球技、チームスポーツ

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
課外研修活動Ⅱ	必修	38
対象学科・学年		
イベントビジネス学科2年／事業創造学科2年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
窪田 浩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>2年次に学校内外で実施される各種研修、イベント等を包括的に一つの科目とみなし、単位認定する。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>学校運営理念である「誠実、明朗、進取の精神をもった、チャレンジ精神旺盛な社会人を育成する」ことを到達目標とし、実施される研修、イベントのすべてがその土台となるものとする。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>出席を最も重要視し、各内容への貢献度、参加姿勢などを加味して評価する。</p>
--

(6) 使用教材・教具

--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 課外研修活動Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
オリテ	1	進級生オリエンテーション	進級時手続き、各種説明等
	2	進級生オリエンテーション	進級時手続き、各種説明等
	3	進級生オリエンテーション	進級時手続き、各種説明等
	4	進級生オリエンテーション	進級時手続き、各種説明等
	5	進級生オリエンテーション	進級時手続き、各種説明等
	6	進級生オリエンテーション	進級時手続き、各種説明等
	7	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	8	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	9	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	10	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	11	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	12	夏フェス	グループ28校合同の学園祭
	13	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	14	夏フェス	グループ28校合同の学園祭
	15	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	16	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	17	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	18	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	19	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	20	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	21	大運動会	トラック、フィールド競技
	22	大運動会	トラック、フィールド競技
	23	大運動会	トラック、フィールド競技
	24	大運動会	トラック、フィールド競技
	25	大運動会	トラック、フィールド競技
	26	大運動会	トラック、フィールド競技
	27	HR	
	28	HR	
	29	HR	
	30	HR	

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
企業研究	必修	24
対象学科・学年		
事業創造学科1年(経営ビジネスコース)		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
谷内田 真理	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>12月中旬にインターンシップ実習を行うための企業研究・応募書類・自己理解に関する授業 実際にインターンシップへ行った後の振り返り</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>インターンシップへの応募・参加・振り返りを通じて、企業様とのやりとりに必要な事柄を実践的に学び、就活に活かすことができる。 自己理解・企業理解を進め、目指す方向性を見つける一助とする。</p>

(5) 成績評価方法・基準

出席率、授業態度、インターンシップ先企業からの評価

(6) 使用教材・教具

自己理解ツール等(株式会社マナーズにて用意)

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 インターンシップ実習

W	時間	授業内容	授業方法
1	1	インターンシップとは ・インターンシップの意義と就活への活かし方 ・自己分析について	・グループワーク ・自己分析ワークから強みを見つけ、言語化する
	2		
2	3	固定企業の発表 固定企業の企業研究	・固定企業をグループ別に分析 ・自分の強みをどのように実習で活かせるか検討
	4		
3	5	ES書き方講座(添削スタッフ同行します)	・提出書類の確認とポイント説明 ・各自ES作成し、スタッフへ添削してもらう
	6		
4	7	インターンシップ前ビジネスマナー講座	・インターン中に気を付けたいビジネスマナー ・メールの書き方 ・電話対応
	8		
5	9	1日目	企業にてインターンシップ実習
	10		
	11		
	12		
6	13	2日目	企業にてインターンシップ実習
	14		
	15		
	16		
7	17	ふりかえり	・振り返りシートを用いて実習での学びや発見等をグループで共有 ・就活に向けて、各自取り組むべきことの確認
	18		
	19	ディスカッション1	業界について理解できたこと
	20	ディスカッション2	企業について理解できたこと
	21	ディスカッション3	職種について理解できたこと
	22	ディスカッション4	入社後の自分の行動について
	23	レポート作成	
	24	〃	
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
基礎英語 I	必修	16
対象学科・学年		
全学科1年生(ビジネス教養学科、事業創造学科国際ビジネスコースは除く)		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>株式会社リクルートマーケティングパートナーズが提供する「スタディサプリ」というアプリを活用して、eラーニング形式で進める。学生はスタディサプリをスマートフォンやタブレットにダウンロードし、各自で学習を進めていく。問題は基礎英語 I の範囲内では720レッスンあるが、どのレッスンを選択するかは自由。1レッスン10～15分程度で終わるよう設計されている。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>グローバル社会という言葉が用いられてからしばらくが経過しているが日本人の英語力は世界水準よりも下回ったままである。そこで日常会話で用いられる、中学・高校で学んだ英語学習の定着、および基礎知識・技能と英語における知識量を増やすことを目的として実施する。第1段階としては一般的な日常表現や言い回しを理解し、自己紹介などのやりとりができるようになることを目標とする。次の段階では家族や仕事のことなど日常的に使われる表現を理解し、情報交換ができるようになることを目標とする。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>教職員は管理画面を確認することで進捗状況や学習状況の把握ができる。こうした積極性や主体性を成績評価の軸としながらも、成績評価テストにより学習の習熟度を評価する。</p>

(6) 使用教材・教具

<p>スタディサプリ(アプリ)、スマートフォンまたはタブレット、ノート、筆記用具</p>
--

(7) 授業にあたっての留意点

<p>スタディサプリは自主的な学習を進めるeラーニングアプリであるため、日々の学習計画を定めて、これに基づいて計画的に学習を進めること。</p>
--

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 基礎英語 I

W	時間	授業内容	授業方法
	1	重要表現を学ぶ	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	2	Be動詞の現在形	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	3	一般動詞の現在形	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	4	7W2Hを使った疑問文	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	5	助動詞	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	6	過去形	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	7	未来形・現在進行形	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	8	提案・勧誘の重要表現	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	9	SVC	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	10	SVOO	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	11	前置詞	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	12	代名詞	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	13	重要表現を学ぶ	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	14	重要表現を学ぶ	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	15	重要表現を学ぶ	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	16	重要表現を学ぶ	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
基礎演習	必修	16
対象学科・学年		
全学科1学年（ビジネス教養学科・事業創造学科国際ビジネスコースを除く）		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>株式会社ウイネットが開発、販売を行っている学習アプリ「myトレーニング」を活用したeラーニング形式の授業。学生は各自のペースで国語・数学の問題を解く。誤った箇所は解説を確認し、同様の単元の問題を解くことを繰り返す。進捗状況は担任が管理画面で把握し、フォローを行う。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>学生の基礎学力の習熟状況が様々であるため、専門学校等に入学後、専門知識修得が難しい学生存在する。こうした学生だけでなく、全入学生に対して、中・高で学んだ国語や数学の問題に取り組ませることで、全学生の基礎学力を底上げし、専門知識を養う授業へとスムーズに移行することを目指す。</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>授業態度：管理画面による進捗状況の把握で主体性・積極性などを評価する。また、期末にテストを行い成績評価の判断材料とする。</p>

(6) 使用教材・教具

<p>学習アプリ「myトレーニング」、スマートフォンまたはタブレット(PCでも可)</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p>eラーニングは主体的に取り組むことを前提とした学習形式であるため、個々に学習スケジュールを立て、計画的に学習に取り組むこと。</p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 基礎演習

W	時間	授業内容	授業方法
	1	分数と小数	myトレーニングをつかったeラーニング
	2	割合	myトレーニングをつかったeラーニング
	3	速さ	myトレーニングをつかったeラーニング
	4	正の数・負の数	myトレーニングをつかったeラーニング
	5	文字式の計算	myトレーニングをつかったeラーニング
	6	方程式とその解き方	myトレーニングをつかったeラーニング
	7	比例・反比例の利用	myトレーニングをつかったeラーニング
	8	図形の基礎	myトレーニングをつかったeラーニング
	9	連立方程式とその解き方	myトレーニングをつかったeラーニング
	10	方程式とグラフ	myトレーニングをつかったeラーニング
	11	確率	myトレーニングをつかったeラーニング
	12	敬語	myトレーニングをつかったeラーニング
	13	文法	myトレーニングをつかったeラーニング
	14	言葉の意味	myトレーニングをつかったeラーニング
	15	表記	myトレーニングをつかったeラーニング
	16	漢字	myトレーニングをつかったeラーニング
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
経営学概論	選択	90
対象学科・学年		
事業創造学科2年(国際ビジネスコース)		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
窪田 浩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>経営やマネジメントの歴史や現状を学び、 経営の基本的な在り方や、進め方、発展のさせ方を身に着ける</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>経営学検定初級の合格</p>

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①検定結果 ②意欲、授業態度 を6:4の比率で総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

<p>経営学検定初級公式テキスト、問題集、筆記用具</p>

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営学概論

W	時間	授業内容	授業方法
	1	経営とは？	講義
	2	経営とは？	講義
	3	経営学検定の説明	講義
	4	企業システム:経営戦略の体系と理論	テキストを使った講義
	5	〃	テキストを使った講義
	6	企業システム:全社戦略	テキストを使った講義
	7	〃	テキストを使った講義
	8	企業システム:事業戦略	テキストを使った講義
	9	〃	テキストを使った講義
	10	企業システム:機能別戦略	テキストを使った講義
	11	〃	テキストを使った講義
	12	企業システム:経営戦略の策定とコントロール	テキストを使った講義
	13	〃	テキストを使った講義
	14	企業システム:まとめ	テキストを使った講義
	15	〃	テキストを使った講義
	16	経営戦略:企業・会社の諸形態	テキストを使った講義
	17	〃	テキストを使った講義
	18	経営戦略:所有・経営・支配	テキストを使った講義、事例研究
	19	〃	テキストを使った講義、事例研究
	20	経営戦略:経営目的	テキストを使った講義、事例研究
	21	〃	テキストを使った講義、事例研究
	22	経営戦略:会社機関	テキストを使った講義、事例研究
	23	〃	テキストを使った講義、事例研究
	24	経営戦略:コーポレートガバナンス	テキストを使った講義、事例研究
	25	〃	テキストを使った講義、事例研究
	26	経営戦略:日本経営システム	テキストを使った講義、事例研究
	27	〃	テキストを使った講義、事例研究
	28	経営組織:組織に関する基礎理論	テキストを使った講義、事例研究
	29	〃	テキストを使った講義、事例研究
	30	経営組織:経営組織の基本形態	テキストを使った講義、事例研究

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営学概論

W	時間	授業内容	授業方法
	31	経営組織:経営組織の基本形態、企業組織の諸形態	テキストを使った講義、事例研究
	32	〃	テキストを使った講義、事例研究
	33	経営組織:企業組織の諸形態	テキストを使った講義、事例研究
	34	〃	テキストを使った講義、事例研究
	35	経営組織:組織の制度・管理・文化等	テキストを使った講義、事例研究
	36	〃	テキストを使った講義、事例研究
	37	経営組織:まとめ	テキストを使った講義、事例研究
	38	〃	テキストを使った講義、事例研究
	39	経営管理:経営管理の基礎理論	テキストを使った講義、事例研究
	40	〃	テキストを使った講義、事例研究
	41	経営管理:経営機能と管理機能	テキストを使った講義、事例研究
	42	〃	テキストを使った講義、事例研究
	43	経営管理:経営計画、コントロール	テキストを使った講義、事例研究
	44	〃	テキストを使った講義、事例研究
	45	経営課題:M&Aと企業買収	テキストを使った講義、事例研究
	46	〃	テキストを使った講義、事例研究
	47	経営課題:経営のグローバル化	テキストを使った講義、事例研究
	48	〃	テキストを使った講義、事例研究
	49	経営課題:企業経営と情報化	テキストを使った講義、事例研究
	50	〃	テキストを使った講義、事例研究
	51	経営課題:企業の社会的責任と企業倫理	テキストを使った講義、事例研究
	52	〃	テキストを使った講義、事例研究
	53	経営課題:環境経営	テキストを使った講義、事例研究
	54	〃	テキストを使った講義、事例研究
	55	経営課題:まとめ	テキストを使った講義、事例研究
	56	〃	テキストを使った講義、事例研究
	57	〃	テキストを使った講義、事例研究
	58	第11回過去問題	過去問題による答案作成練習
	59	〃	過去問題による答案作成練習
	60	解説	過去問題による答案作成練習

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 経営学概論

W	時間	授業内容	授業方法
	61	第12回過去問題	過去問題による答案作成練習
	62	〃	過去問題による答案作成練習
	63	解説	過去問題による答案作成練習
	64	第13回過去問題	過去問題による答案作成練習
	65	〃	過去問題による答案作成練習
	66	解説	過去問題による答案作成練習
	67	第14回過去問題	過去問題による答案作成練習
	68	〃	過去問題による答案作成練習
	69	解説	過去問題による答案作成練習
	70	第15回過去問題	過去問題による答案作成練習
	71	〃	過去問題による答案作成練習
	72	解説	過去問題による答案作成練習
	73	第11回過去問題	過去問題による答案作成練習
	74	〃	過去問題による答案作成練習
	75	解説	過去問題による答案作成練習
	76	第16回過去問題	過去問題による答案作成練習
	77	〃	過去問題による答案作成練習
	78	解説	過去問題による答案作成練習
	79	第17回過去問題	過去問題による答案作成練習
	80	〃	過去問題による答案作成練習
	81	解説	過去問題による答案作成練習
	82	第18回過去問題	過去問題による答案作成練習
	83	〃	過去問題による答案作成練習
	84	解説	過去問題による答案作成練習
	85	第19回過去問題	過去問題による答案作成練習
	86	〃	過去問題による答案作成練習
	87	解説	過去問題による答案作成練習
	88	第20回過去問題	過去問題による答案作成練習
	89	〃	過去問題による答案作成練習
	90	解説	過去問題による答案作成練習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
経営学概論Ⅰ	選択	93
対象学科・学年		
事業創造学科1年(経営ビジネスコース)		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
窪田 浩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>経営やマネジメントの歴史や現状を学び、 経営の基本的な在り方や、進め方、発展のさせ方を身に着ける</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>経営学検定初級の合格</p>

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①検定結果 ②意欲、授業態度 を6:4の比率で総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

<p>経営学検定初級公式テキスト、問題集、筆記用具</p>

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営学概論 I

W	時間	授業内容	授業方法
	1	経営とは？	講義
	2	経営とは？	講義
	3	経営学検定の説明	講義
	4	企業システム:経営戦略の体系と理論	テキストを使った講義
	5	〃	テキストを使った講義
	6	企業システム:全社戦略	テキストを使った講義
	7	〃	テキストを使った講義
	8	企業システム:事業戦略	テキストを使った講義
	9	〃	テキストを使った講義
	10	企業システム:機能別戦略	テキストを使った講義
	11	〃	テキストを使った講義
	12	企業システム:経営戦略の策定とコントロール	テキストを使った講義
	13	〃	テキストを使った講義
	14	企業システム:まとめ	テキストを使った講義
	15	〃	テキストを使った講義
	16	経営戦略:企業・会社の諸形態	テキストを使った講義
	17	〃	テキストを使った講義
	18	経営戦略:所有・経営・支配	テキストを使った講義、事例研究
	19	〃	テキストを使った講義、事例研究
	20	経営戦略:経営目的	テキストを使った講義、事例研究
	21	〃	テキストを使った講義、事例研究
	22	経営戦略:会社機関	テキストを使った講義、事例研究
	23	〃	テキストを使った講義、事例研究
	24	経営戦略:コーポレートガバナンス	テキストを使った講義、事例研究
	25	〃	テキストを使った講義、事例研究
	26	経営戦略:日本経営システム	テキストを使った講義、事例研究
	27	〃	テキストを使った講義、事例研究
	28	経営組織:組織に関する基礎理論	テキストを使った講義、事例研究
	29	〃	テキストを使った講義、事例研究
	30	経営組織:経営組織の基本形態	テキストを使った講義、事例研究

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営学概論 I

W	時間	授業内容	授業方法
	31	経営組織: 経営組織の基本形態、企業組織の諸形態	テキストを使った講義、事例研究
	32	〃	テキストを使った講義、事例研究
	33	経営組織: 企業組織の諸形態	テキストを使った講義、事例研究
	34	〃	テキストを使った講義、事例研究
	35	経営組織: 組織の制度・管理・文化等	テキストを使った講義、事例研究
	36	〃	テキストを使った講義、事例研究
	37	経営組織: まとめ	テキストを使った講義、事例研究
	38	〃	テキストを使った講義、事例研究
	39	経営管理: 経営管理の基礎理論	テキストを使った講義、事例研究
	40	〃	テキストを使った講義、事例研究
	41	経営管理: 経営機能と管理機能	テキストを使った講義、事例研究
	42	〃	テキストを使った講義、事例研究
	43	経営管理: 経営計画、コントロール	テキストを使った講義、事例研究
	44	〃	テキストを使った講義、事例研究
	45	経営課題: M&Aと企業買収	テキストを使った講義、事例研究
	46	〃	テキストを使った講義、事例研究
	47	経営課題: 経営のグローバル化	テキストを使った講義、事例研究
	48	〃	テキストを使った講義、事例研究
	49	経営課題: 企業経営と情報化	テキストを使った講義、事例研究
	50	〃	テキストを使った講義、事例研究
	51	経営課題: 企業の社会的責任と企業倫理	テキストを使った講義、事例研究
	52	〃	テキストを使った講義、事例研究
	53	経営課題: 環境経営	テキストを使った講義、事例研究
	54	〃	テキストを使った講義、事例研究
	55	経営課題: まとめ	テキストを使った講義、事例研究
	56	〃	テキストを使った講義、事例研究
	57	〃	テキストを使った講義、事例研究
	58	第11回過去問題	過去問題による答案作成練習
	59	〃	過去問題による答案作成練習
	60	解説	過去問題による答案作成練習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 経営学概論 I

W	時間	授業内容	授業方法
	61	第12回過去問題	過去問題による答案作成練習
	62	〃	過去問題による答案作成練習
	63	解説	過去問題による答案作成練習
	64	第13回過去問題	過去問題による答案作成練習
	65	〃	過去問題による答案作成練習
	66	解説	過去問題による答案作成練習
	67	第14回過去問題	過去問題による答案作成練習
	68	〃	過去問題による答案作成練習
	69	解説	過去問題による答案作成練習
	70	第15回過去問題	過去問題による答案作成練習
	71	〃	過去問題による答案作成練習
	72	解説	過去問題による答案作成練習
	73	第11回過去問題	過去問題による答案作成練習
	74	〃	過去問題による答案作成練習
	75	解説	過去問題による答案作成練習
	76	第16回過去問題	過去問題による答案作成練習
	77	〃	過去問題による答案作成練習
	78	解説	過去問題による答案作成練習
	79	第17回過去問題	過去問題による答案作成練習
	80	〃	過去問題による答案作成練習
	81	解説	過去問題による答案作成練習
	82	第18回過去問題	過去問題による答案作成練習
	83	〃	過去問題による答案作成練習
	84	解説	過去問題による答案作成練習
	85	第19回過去問題	過去問題による答案作成練習
	86	〃	過去問題による答案作成練習
	87	解説	過去問題による答案作成練習
	88	第20回過去問題	過去問題による答案作成練習
	89	〃	過去問題による答案作成練習
	90	解説	過去問題による答案作成練習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
計算実務	必修	75
対象学科・学年		
イベントビジネス学科1年、事業創造学科1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助、月次決算、年次決算、税務相談、申告書作成、	

(3) 授業概要

<p>電卓計算機を活用することで、より効率的に計算する仕組み・手法を理解する。 また、数字を読み取る力、一定の計算手法を習得する力を養う。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>全国経理教育協会主催 電卓計算能力検定試験3級 合格</p>

(5) 成績評価方法・基準

当該授業への出席率80%以上を基本として、①検定試験の結果、②模擬試験の結果、③授業への意欲・取り組みを4:3:3で評価する。

(6) 使用教材・教具

<p>説明・演習用問題プリント、筆記用具、電卓</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p>特になし</p>

(8) その他

<p>特になし</p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 計算実務

W	時間	授業内容	授業方法
	1	電卓計算の必要性	講義
	2	見取算演習	演習
	3	見取算演習	演習
	4	複合算説明	講義
	5	複合算演習	演習
	6	タイム計測	演習
	7	乗算／除算説明	講義
	8	乗算／除算演習	演習
	9	タイム計測	演習
	10	伝票算説明	講義
	11	伝票算演習	演習
	12	タイム計測	演習
	13	総合演習	演習
	14	タイム計測	演習
	15	タイム計測	演習
	16	タイム計測	演習
	17	タイム計測	演習
	18	タイム計測	演習
	19	タイム計測	演習
	20	タイム計測	演習
	21	タイム計測	演習
	22	タイム計測	演習
	23	タイム計測	演習
	24	タイム計測	演習
	25	タイム計測	演習
	26	タイム計測	演習
	27	タイム計測	演習
	28	タイム計測	演習
	29	タイム計測～模擬試験	演習
	30	タイム計測～模擬試験	演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 計算実務

W	時間	授業内容	授業方法
	31	タイム計測	演習
	32	タイム計測	演習
	33	タイム計測	演習
	34	タイム計測	演習
	35	タイム計測	演習
	36	タイム計測	演習
	37	タイム計測	演習
	38	タイム計測	演習
	39	タイム計測	演習
	40	タイム計測	演習
	41	タイム計測～模擬試験	演習
	42	タイム計測～模擬試験	演習
	43	タイム計測	演習
	44	タイム計測	演習
	45	タイム計測	演習
	46	タイム計測	演習
	47	タイム計測	演習
	48	タイム計測	演習
	49	タイム計測	演習
	50	タイム計測	演習
	51	タイム計測	演習
	52	タイム計測	演習
	53	タイム計測～模擬試験	演習
	54	タイム計測～模擬試験	演習
	55	タイム計測	演習
	56	タイム計測	演習
	57	タイム計測	演習
	58	タイム計測	演習
	59	タイム計測	演習
	60	タイム計測	演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 計算実務

W	時間	授業内容	授業方法
	61	タイム計測	演習
	62	タイム計測	演習
	63	タイム計測	演習
	64	タイム計測	演習
	65	タイム計測～模擬試験	演習
	66	タイム計測～模擬試験	演習
	67	タイム計測～模擬試験	演習
	68	タイム計測～模擬試験	演習
	69	タイム計測～模擬試験	演習
	70	タイム計測～模擬試験	演習
	71	タイム計測～模擬試験	演習
	72	タイム計測～模擬試験	演習
	73	タイム計測～模擬試験	演習
	74	タイム計測～模擬試験	演習
	75	タイム計測～模擬試験	演習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
社会人常識マナー	必修	29h
対象学科・学年		
イベントビジネス学科1年、事業創造学科1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
鈴木 啓修	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
デジタルサイネージ事業にてプランナーとデザイナーを兼任、デジタルコンテンツ制作を担当した。 パッケージ印刷事業にてデザイナーを任せられ、パッケージデザインや内容校正・色校正を担当した。	

(3) 授業概要

<p>社会人常識マナー検定テキストを使用。学習範囲を提示し、学習とテストを時間内に行う。 基本的には昨年度の基礎演習用問題をそのまま使用していく予定。</p> <p>留学生には別枠で講習の必要あり、放課後などに時間を取る。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>①社会人常識マナー検定合格目標達成 ②コミュニケーション能力向上 ③就職筆記試験対応</p> <p>※①については、1月19日に行われる検定試験に向けて、出題頻度の高い問題を解く。 ②については、テーマを設定したうえでのディスカッションなどを盛り込んでいく。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

科目総時間数の80%以上の出席を前提とし、検定結果および習熟度:90% 日頃の授業態度:10%

(6) 使用教材・教具

テキスト(全経公式テキスト 社会人常識マナー 検定テキスト2・3級)

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 社会人常識マナー

W	時間	授業内容	授業方法
後1	1	社会常識 第1章 社会と組織	
	2	社会常識 第2章 仕事と成果	
後2	3	社会常識 第3章 一般知識	
	4	社会常識 第4章 ビジネス計算	
後3	5	実力テスト 一般常識①	
	6	実力テスト 一般常識②	
後4	7	実力テスト 一般常識③	
	8	実力テスト 一般常識④	
後5	9	実力テスト 一般常識⑤	
	10	実力テスト 一般常識⑥	
後6	11	コミュニケーション 第1章 ビジネスコミュニケ～	
	12	コミュニケーション 第2章 社会人にふさわし～	
後7	13	コミュニケーション 第3章 ビジネス文書の活用	
	14	実力テスト コミュニケーション①	
後8	15	実力テスト コミュニケーション②	
	16	実力テスト コミュニケーション③	
後9	17	ビジネスマナー 第1章 職場のマナー	
	18	ビジネスマナー 第2章 来客対応	
後10	19	ビジネスマナー 第3章 電話対応	
	20	ビジネスマナー 第4章 交際業務	
後11	21	ビジネスマナー 第5章 文書類の受け取りと～	
	22	実力テスト ビジネスマナー①	
後12	23	実力テスト ビジネスマナー②	
	24	実力テスト ビジネスマナー③	
後13	25	実力テスト ビジネスマナー④	
	26	過去問題①	
後14	27	過去問題②	
	28	過去問題③	
	29	過去問題④	
	30		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
就職実務 I	必修	90
対象学科・学年		
イベントビジネス学科1年、事業創造学科1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助、月次決算、年次決算、税務相談、申告書作成、	

(3) 授業概要

<p>社会人としての心構えから始まり、就職活動スタートに向けての準備をしていく。就職動画教材を中心として、アウトプットとしてのワークを活用して理解と体得を目指す。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>就職活動スタートまでに準備を整える。ディスカッションやワークを通して自己の考え方に他者目線を取り入れて成長を促し、求職登録合格を目指す。</p> <p>社会人常識マナー検定3級の合格</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%を前提として、レポートとしてワークシートの提出と求職登録の可否により評価</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>筆記用具、ノートPC</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 就職実務 I

W	時間	授業内容	授業方法
	1	社会人としての心構え	
	2	学生との違いの理解	
	3	コミュニケーション能力の必要性理解	
	4	就職動画教材「これから、どう生きていくのか」	動画教材
	5		ディスカッションシート
	6	就職動画教材「一生でどのくらい稼げるか」	動画教材
	7		ディスカッションシート
	8	就職動画教材「どんな生活を送りたいか」	動画教材
	9		ディスカッションシート
	10	就職動画教材「社会はどんな人材を求めているか」	動画教材
	11		ディスカッションシート
	12	就職動画教材「チャンスを逃さない」	動画教材
	13		ディスカッションシート
	14	就職動画教材「働く理由を考える」	動画教材
	15		ディスカッションシート
	16	就職動画教材「BtoBとBtoCの違いを知る」	動画教材
	17		ワークシート
	18	就職動画教材「業種について考える」	動画教材
	19		ワークシート
	20	就職動画教材「職種について考える」	動画教材
	21		ワークシート
	22	就職動画教材「企業研究の仕方」	動画教材
	23		ワークシート
	24	就職動画教材「伝わる文章の書き方」	動画教材
	25		ワークシート
	26	就職動画教材「相手を納得させる論理力」	動画教材
	27		ワークシート
	28	就職動画教材「構成を考える」	動画教材
	29		ワークシート
	30	就職動画教材「自己PRネタを探す」	動画教材

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務 I

W	時間	授業内容	授業方法
	31	就職動画教材「自己PRネタを探す」	ワークシート
	32		ワークシート
	33		ワークシート
	34		ワークシート
	35	就職動画教材「自己PRの骨格をつくる」	動画教材
	36		ワークシート
	37		ワークシート
	38	就職動画教材「説得力のある自己PRをつくる」	動画教材
	39		ワークシート
	40		ワークシート
	41		ワークシート
	42	就職動画教材「志望動機をつくる」	動画教材
	43		ワークシート
	44	就職動画教材「履歴書・エントリーシートの書き方」	動画教材
	45		ワークシート
	46		ワークシート
	47	就職動画教材「コミュニケーションは「きく」から始まる」	動画教材・ワークシート
	48	就職動画教材「話す」は「全身表現」	動画教材・ワークシート
	49	就職動画教材「日本語の発声法」	動画教材・ワークシート
	50	就職動画教材「緊張は友達」	動画教材・ワークシート
	51	就職動画教材「リズムカルに話す」	動画教材・ワークシート
	52	求職登録の説明と求職登録の流れ	
	53	就職動画教材「身だしなみ」	動画教材・ワークシート
	54	就職動画教材「面接のマナー」	動画教材・ワークシート
	55	就職動画教材「面接試験対策」	動画教材・ワークシート
	56	就職動画教材「ディスカッションの基礎」	動画教材・ワークシート
	57	面接練習	見本を見る
	58		グループに分かれて実施
	59		グループに分かれて実施
	60	模擬面接	実戦形式の面接練習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務 I

W	時間	授業内容	授業方法
	61	模擬面接	実戦形式の面接練習
	62	模擬面接	実戦形式の面接練習
	63	模擬面接	実戦形式の面接練習
	64	模擬面接	実戦形式の面接練習
	65	模擬面接	実戦形式の面接練習
	66	模擬面接	実戦形式の面接練習
	67	模擬面接	実戦形式の面接練習
	68	模擬面接	実戦形式の面接練習
	69	模擬面接	実戦形式の面接練習
	70	模擬面接	実戦形式の面接練習
	71	模擬面接	実戦形式の面接練習
	72	模擬面接	実戦形式の面接練習
	73	模擬面接	実戦形式の面接練習
	74	模擬面接	実戦形式の面接練習
	75	模擬面接	実戦形式の面接練習
	76	模擬面接	実戦形式の面接練習
	77	模擬面接	実戦形式の面接練習
	78	模擬面接	実戦形式の面接練習
	79	模擬面接	実戦形式の面接練習
	80	模擬面接	実戦形式の面接練習
	81	模擬面接	実戦形式の面接練習
	82	模擬面接	実戦形式の面接練習
	83	模擬面接	実戦形式の面接練習
	84	模擬面接	実戦形式の面接練習
	85	模擬面接	実戦形式の面接練習
	86	模擬面接	実戦形式の面接練習
	87	模擬面接	実戦形式の面接練習
	88	模擬面接	実戦形式の面接練習
	89	模擬面接	実戦形式の面接練習
	90	模擬面接	実戦形式の面接練習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
就職実務Ⅱ	必修	125
対象学科・学年		
事業創造学科2年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
窪田 浩	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
営業、営業事務、企画業務、指導	

(3) 授業概要

<p>就職活動を中心に内定獲得のための試験対策を行う。 また、社会人としての心構えや人生設計などを含めて、卒業後の準備を行う。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>就職内定。 企業着任後にスムーズな社会人生活を送ることができるように準備をする。</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①各種成果物 ②意欲、授業態度 を総合的に評価する。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>PC(必要な際は事前に教員から学生に伝える)</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
	1	動機付けワークショップ:「まず行動すること」	ワークショップ
	2	動機付けワークショップ:「まず行動すること」	ワークショップ
	3	動機付けワークショップ:「まず行動すること」	ワークショップ
	4	就職活動のスケジュール	講義
	5	就職活動のスケジュール作成	講義、ワーク
	6	就職活動のスケジュール作成	講義、ワーク
	7	業界研究:業界に関わる会社, 職種	講義
	8	業界研究:業界に関わる会社, 職種	個人ワーク
	9	業界研究:業界に関わる会社, 職種	個人ワーク
	10	業界研究:業界に関わる会社, 職種	個人ワーク
	11	業界研究:まとめ	個人ワーク
	12	業界研究:まとめ	個人ワーク
	13	企業研究:企業研究すべきこと	講義
	14	企業研究:求人票から読み取れること	講義
	15	企業研究:求人票チェック	個人ワーク
	16	企業研究:企業ホームページから読み取れること	講義
	17	企業研究:企業ホームページチェック	個人ワーク
	18	企業研究:企業ホームページチェック	個人ワーク
	19	企業研究:気になる企業の企業研究	個人ワーク
	20	企業研究:気になる企業の企業研究	個人ワーク
	21	企業研究:気になる企業の企業研究	個人ワーク
	22	企業研究:気になる企業の企業研究	個人ワーク
	23	企業研究:気になる企業の企業研究	個人ワーク
	24	企業研究:気になる企業の企業研究	個人ワーク
	25	志望動機作成:文章化	個人ワーク
	26	志望動機作成:文章化	個人ワーク
	27	志望動機作成:文章化	個人ワーク
	28	志望動機作成:文章化	個人ワーク
	29	志望動機作成:文章化	個人ワーク
	30	志望動機作成:文章化	個人ワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 就職実務Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
	31	採用試験準備:履歴書の書き方	講義
	32	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
	33	採用試験準備:履歴書作成	個人ワーク
	34	採用試験準備:面接試験とは	講義
	35	採用試験準備:面接試験で聞かれること調査	グループワーク
	36	採用試験準備:面接試験で聞かれること調査	グループワーク
	37	採用試験準備:面接試験で聞かれること準備	グループワーク
	38	採用試験準備:面接試験で聞かれること準備	グループワーク
	39	採用試験準備:面接試験で聞かれること準備	グループワーク
	40	採用試験準備:面接練習	講義
	41	採用試験準備:面接練習	教員と模擬面接
	42	採用試験準備:面接練習	教員と模擬面接
	43	採用試験準備:面接練習	教員と模擬面接
	44	採用試験準備:面接練習	教員と模擬面接
	45	採用試験準備:面接練習	教員と模擬面接
	46	採用試験準備:面接練習	学生同士で模擬面接
	47	採用試験準備:面接練習	学生同士で模擬面接
	48	採用試験準備:面接練習	学生同士で模擬面接
	49	採用試験準備:グループディスカッション(自由討論)	講義
	50	採用試験準備:グループディスカッション(自由討論)	グループディスカッション
	51	採用試験準備:グループディスカッション(自由討論)	プレゼンテーション
	52	採用試験準備:グループディスカッション(課題解決)	講義
	53	採用試験準備:グループディスカッション(課題解決)	グループディスカッション
	54	採用試験準備:グループディスカッション(課題解決)	プレゼンテーション
	55	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	56	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	57	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	58	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	59	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	60	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
	61	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	62	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	63	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	64	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	65	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	66	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	67	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	68	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	69	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	70	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	71	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	72	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	73	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	74	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	75	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	76	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	77	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	78	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	79	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	80	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	81	各自の就職活動に合わせて作業	個人ワーク、教務との面談、面接練習
	82	ライフプランニング: 自分の将来について	講義
	83	ライフプランニング: 自分の将来について	講義
	84	ライフプランニング: モチベーションマップ	個人ワーク
	85	ライフプランニング: モチベーションマップ	個人ワーク
	86	ライフプランニング: モチベーションマップ	個人ワーク
	87	ライフプランニング: モチベーションマップ	個人ワーク
	88	ライフプランニング: 10年後のビジョン	講義
	89	ライフプランニング: 10年後のビジョン	個人ワーク
	90	ライフプランニング: 10年後のビジョン	個人ワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
	91	ライフプランニング:10年後の生活	講義
	92	ライフプランニング:10年後の生活費試算	個人ワーク
	93	ライフプランニング:10年後の生活費試算	個人ワーク
	94	ライフプランニング:10年後の環境	講義
	95	ライフプランニング:10年前と今の比較	グループワーク
	96	ライフプランニング:10年前と今の比較	グループワーク
	97	ライフプランニング:10年後の環境予想	グループワーク
	98	ライフプランニング:10年後の環境予想	グループワーク
	99	ライフプランニング:10年後の環境予想	グループワーク
	100	ライフプランニング:10年後のビジョン見直し	個人ワーク
	101	ライフプランニング:10年後のビジョン見直し	個人ワーク
	102	ライフプランニング:10年後のビジョン見直し	個人ワーク
	103	会社の仕組み:給与、昇給、ボーナスについて	講義
	104	会社の仕組み:給与、昇給、ボーナスについて	講義
	105	会社の仕組み:給与、昇給、ボーナスについて	講義
	106	会社の仕組み:人事評価について	講義
	107	会社の仕組み:人事評価について	講義
	108	会社の仕組み:人事評価について	講義
	109	会社の仕組み:休日、有給休暇、残業について	講義
	110	会社の仕組み:休日、有給休暇、残業について	講義
	111	会社の仕組み:休日、有給休暇、残業について	講義
	112	当事者意識:時事ニュースの見方	講義
	113	当事者意識:時事ニュースの見方	グループワーク
	114	当事者意識:時事ニュースの見方	グループワーク
	115	当事者意識:時事ニュースの見方	講義
	116	当事者意識:時事ニュースの見方	グループワーク
	117	当事者意識:時事ニュースの見方	グループワーク
	118	社会人準備:学生と社会人の違い	講義
	119	社会人準備:学生と社会人の違い	グループワーク
	120	社会人準備:学生と社会人の違い	グループワーク

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
卒業研究	必修	108h
対象学科・学年		
イベントビジネス学科2年、事業創造学科2年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
鈴木 啓修	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
デジタルサイネージ事業にてプランナーとデザイナーを兼任、デジタルコンテンツ制作を担当した。 パッケージ印刷事業にてデザイナーを任せられ、パッケージデザインや内容校正・色校正を担当した。	

(3) 授業概要

<p>2年間の集大成のアウトプットとして、自由課題で制作を行う。 (イベント企画や、グラフィックデザイン、動画制作、ビジネスモデルなど、あらゆるテーマを可とする)</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>実現可能性のある企画や、商用レベルの制作物を制作する</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>科目総時間数の80%以上の出席を前提とし、普段の授業の取り組み姿勢、制作物の出来栄え、最終プレゼンを総合的に判断し、評価する。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>PCなど必要とされるものは学生各自で用意、プロジェクター、テレビ電話ツール</p>
--

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 卒業研究

W	時間	授業内容	授業方法
後1	1	ガイダンス:授業の進め方、評価方法など説明	PowerPointによる講義
	2	最終発表へ向けたスケジュールの説明	PowerPointによる講義
	3	制作体制の策定(個人かグループか)	ディスカッション
	4	制作物のコンセプト策定	PowerPointによる講義
	5	制作物のコンセプト策定	ディスカッション
	6	制作物のコンセプト策定	プレゼンテーション
後2	7	制作スケジュールの策定	PowerPointによる講義
	8	制作スケジュールの策定	個人・グループ作業
	9	制作スケジュールの策定	個人・グループ作業
	10	制作	PowerPointによる講義
	11	制作	個人・グループ作業
	12	制作	個人・グループ作業
後3	13	制作	個人・グループ作業
	14	制作	個人・グループ作業
	15	制作	個人・グループ作業
	16	制作	個人・グループ作業
	17	制作	個人・グループ作業
	18	制作	個人・グループ作業
後4	19	制作	個人・グループ作業
	20	制作	個人・グループ作業
	21	制作	個人・グループ作業
	22	制作	個人・グループ作業
	23	制作	個人・グループ作業
	24	制作	個人・グループ作業
後5	25	制作	個人・グループ作業
	26	制作	個人・グループ作業
	27	制作	個人・グループ作業
	28	制作	PowerPointによる講義
	29	制作	個人・グループ作業
	30	制作	個人・グループ作業

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 卒業研究

W	時間	授業内容	授業方法
後6	31	第1回中間報告会	プレゼンテーション
	32	第1回中間報告会	プレゼンテーション
	33	第1回中間報告会	教員, 学生間でフィードバック
	34	制作	個人・グループ作業
	35	制作	個人・グループ作業
	36	制作	個人・グループ作業
後7	37	制作	個人・グループ作業
	38	制作	個人・グループ作業
	39	制作	個人・グループ作業
	40	制作	個人・グループ作業
	41	制作	個人・グループ作業
	42	制作	個人・グループ作業
後8	43	制作	個人・グループ作業
	44	制作	個人・グループ作業
	45	制作	個人・グループ作業
	46	制作	個人・グループ作業
	47	制作	個人・グループ作業
	48	制作	個人・グループ作業
後9	49	制作	個人・グループ作業
	50	制作	個人・グループ作業
	51	制作	個人・グループ作業
	52	制作	個人・グループ作業
	53	制作	個人・グループ作業
	54	制作	個人・グループ作業
後10	55	第2回中間報告会	プレゼンテーション
	56	第2回中間報告会	プレゼンテーション
	57	第2回中間報告会	教員, 学生間でフィードバック
	58	制作	個人・グループ作業
	59	制作	個人・グループ作業
	60	制作	個人・グループ作業

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 卒業研究

W	時間	授業内容	授業方法
後11	61	制作	個人・グループ作業
	62	制作	個人・グループ作業
	63	制作	個人・グループ作業
	64	制作	個人・グループ作業
	65	制作	個人・グループ作業
	66	制作	個人・グループ作業
後12	67	制作	個人・グループ作業
	68	制作	個人・グループ作業
	69	制作	個人・グループ作業
	70	制作	個人・グループ作業
	71	制作	個人・グループ作業
	72	制作	個人・グループ作業
後13	73	制作	個人・グループ作業
	74	制作	個人・グループ作業
	75	制作	個人・グループ作業
	76	制作	個人・グループ作業
	77	制作	個人・グループ作業
	78	制作	個人・グループ作業
後14	79	第3回中間報告会	プレゼンテーション
	80	第3回中間報告会	プレゼンテーション
	81	第3回中間報告会	教員, 学生間でフィードバック
	82	制作	個人・グループ作業
	83	制作	個人・グループ作業
	84	制作	個人・グループ作業
後15	85	制作	個人・グループ作業
	86	制作	個人・グループ作業
	87	制作	個人・グループ作業
	88	制作	個人・グループ作業
	89	制作	個人・グループ作業
	90	制作	個人・グループ作業

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
店舗運営実習 I	選択	93
対象学科・学年		
事業創造学科1年 経営ビジネスコース		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
窪田 浩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

音楽と髭達への出店・運営を通して、事業計画や損益計算など、経営に必要な知識・スキルを体系的に学ぶ。 また、様々な成功事例、失敗事例、時事ニュースなども取り上げながら、起業家理念を養う。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

経営の体系的な知識・スキルを「経験」を通して身につける

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①各種成果物 ②意欲、授業態度 を総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 店舗運営実習 I

W	時間	授業内容	授業方法
	1	ガイダンス:授業の進め方、評価方法など説明	PowerPointによる講義
	2	音楽と髭達とは？音楽フェスとは？	PowerPointによる講義
	3	過去の実績鑑賞	グループワーク
	4	メンバーの役割決め	PowerPointによる講義
	5	メンバーの役割決め	グループワーク
	6	メンバーの役割決め	グループワーク
	7	スケジュール感の策定	PowerPointによる講義
	8	スケジュール感の策定	グループワーク
	9	スケジュール感の策定	グループワーク
	10	当日までにすべきこととは	PowerPointによる講義
	11	当日までにすべきこととは	グループワーク
	12	当日までにすべきこととは	グループワーク
	13	商品選定	PowerPointによる講義
	14	商品選定	グループワーク
	15	商品選定	グループワーク
	16	商品選定	グループワーク
	17	商品選定	グループワーク
	18	商品選定	グループワーク
	19	商品選定	グループワーク
	20	商品選定	グループワーク
	21	商品選定	グループワーク
	22	目標損益計算書の作成(食品,ドリンク)	PowerPointによる講義
	23	目標損益計算書の作成(食品,ドリンク)	グループワーク
	24	目標損益計算書の作成(食品,ドリンク)	グループワーク
	25	目標損益計算書の作成(食品,ドリンク)	グループワーク
	26	目標損益計算書の作成(食品,ドリンク)	グループワーク
	27	目標損益計算書の作成(食品,ドリンク)	グループワーク
	28	目標損益計算書の作成(販管費)	PowerPointによる講義
	29	目標損益計算書の作成(販管費)	グループワーク
	30	目標損益計算書の作成(販管費)	グループワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 店舗運営実習 I

W	時間	授業内容	授業方法
	31	目標損益計算書の作成(販管費)	グループワーク
	32	目標損益計算書の作成(販管費)	グループワーク
	33	目標損益計算書の作成(販管費)	グループワーク
	34	販売戦略の策定	PowerPointによる講義
	35	販売戦略の策定	グループワーク
	36	販売戦略の策定	グループワーク
	37	販売戦略の策定	グループワーク
	38	販売戦略の策定	グループワーク
	39	販売戦略の策定	グループワーク
	40	事業計画書の作成	PowerPointによる講義
	41	事業計画書の作成	グループワーク
	42	事業計画書の作成	グループワーク
	43	事業計画の発表	プレゼンテーション
	44	事業計画の発表	プレゼンテーション
	45	事業計画の発表	フィードバック
	46	事業計画の修正	PowerPointによる講義
	47	事業計画の修正	グループワーク
	48	事業計画の修正	グループワーク
	49	食材・備品調達	PowerPointによる講義
	50	食材・備品調達	グループワーク
	51	食材・備品調達	グループワーク
	52	食材・備品調達	PowerPointによる講義
	53	食材・備品調達	グループワーク
	54	食材・備品調達	グループワーク
	55	運営・調理マニュアル作成	PowerPointによる講義
	56	運営・調理マニュアル作成	グループワーク
	57	運営・調理マニュアル作成	グループワーク
	58	最終確認	PowerPointによる講義
	59	最終確認	グループワーク
	60	最終確認	グループワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 店舗運営実習 I

W	時間	授業内容	授業方法
	61	音髭振り返り	PowerPointによる講義
	62	音髭振り返り	グループワーク
	63	音髭振り返り	グループワーク
	64	事例研究の進め方	PowerPointによる講義
	65	事例研究の進め方	調査
	66	事例研究の進め方	プレゼンテーション
	67	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	PowerPointによる講義
	68	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	調査
	69	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	プレゼンテーション
	70	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	PowerPointによる講義
	71	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	調査
	72	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	プレゼンテーション
	73	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	PowerPointによる講義
	74	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	調査
	75	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	プレゼンテーション
	76	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	PowerPointによる講義
	77	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	調査
	78	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	プレゼンテーション
	79	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	PowerPointによる講義
	80	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	ディスカッション
	81	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	プレゼンテーション
	82	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	PowerPointによる講義
	83	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	ディスカッション
	84	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	プレゼンテーション
	85	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	PowerPointによる講義
	86	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	ディスカッション
	87	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	プレゼンテーション
	88	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	PowerPointによる講義
	89	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	ディスカッション
	90	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	プレゼンテーション

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
店舗運営実習Ⅱ	選択	120
対象学科・学年		
事業創造学科2年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
窪田 浩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

音楽と髷達への出店・運営を通して、事業計画や損益計算など、経営に必要な知識・スキルを体系的に学ぶ。また、様々な成功事例、失敗事例、時事ニュースなども取り上げながら、起業家理念を養う。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

経営の体系的な知識・スキルを「経験」を通して身につける

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①各種成果物 ②意欲、授業態度 を総合的に評価する。

(6) 使用教材・教具

--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授業計画書

 科目名 ケーススタディⅡ

W	時間	授業内容	授業方法
	1	ガイダンス:授業の進め方、評価方法など説明	PowerPointによる講義
	2	音楽と髭達とは？音楽フェスとは？	PowerPointによる講義
	3	過去の実績鑑賞	グループワーク
	4	メンバーの役割決め	PowerPointによる講義
	5	メンバーの役割決め	グループワーク
	6	メンバーの役割決め	グループワーク
	7	スケジュール感の策定	PowerPointによる講義
	8	スケジュール感の策定	グループワーク
	9	スケジュール感の策定	グループワーク
	10	当日までにすべきこととは	PowerPointによる講義
	11	当日までにすべきこととは	グループワーク
	12	当日までにすべきこととは	グループワーク
	13	商品選定	PowerPointによる講義
	14	商品選定	グループワーク
	15	商品選定	グループワーク
	16	商品選定	グループワーク
	17	商品選定	グループワーク
	18	商品選定	グループワーク
	19	商品選定	グループワーク
	20	商品選定	グループワーク
	21	商品選定	グループワーク
	22	目標損益計算書の作成(食品, ドリンク)	PowerPointによる講義
	23	目標損益計算書の作成(食品, ドリンク)	グループワーク
	24	目標損益計算書の作成(食品, ドリンク)	グループワーク
	25	目標損益計算書の作成(食品, ドリンク)	グループワーク
	26	目標損益計算書の作成(食品, ドリンク)	グループワーク
	27	目標損益計算書の作成(食品, ドリンク)	グループワーク
	28	目標損益計算書の作成(販管費)	PowerPointによる講義
	29	目標損益計算書の作成(販管費)	グループワーク
	30	目標損益計算書の作成(販管費)	グループワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 ケーススタディⅡ

W	時間	授業内容	授業方法
	31	目標損益計算書の作成(販管費)	グループワーク
	32	目標損益計算書の作成(販管費)	グループワーク
	33	目標損益計算書の作成(販管費)	グループワーク
	34	販売戦略の策定	PowerPointによる講義
	35	販売戦略の策定	グループワーク
	36	販売戦略の策定	グループワーク
	37	販売戦略の策定	グループワーク
	38	販売戦略の策定	グループワーク
	39	販売戦略の策定	グループワーク
	40	事業計画書の作成	PowerPointによる講義
	41	事業計画書の作成	グループワーク
	42	事業計画書の作成	グループワーク
	43	事業計画の発表	プレゼンテーション
	44	事業計画の発表	プレゼンテーション
	45	事業計画の発表	フィードバック
	46	事業計画の修正	PowerPointによる講義
	47	事業計画の修正	グループワーク
	48	事業計画の修正	グループワーク
	49	食材・備品調達	PowerPointによる講義
	50	食材・備品調達	グループワーク
	51	食材・備品調達	グループワーク
	52	食材・備品調達	PowerPointによる講義
	53	食材・備品調達	グループワーク
	54	食材・備品調達	グループワーク
	55	運営・調理マニュアル作成	PowerPointによる講義
	56	運営・調理マニュアル作成	グループワーク
	57	運営・調理マニュアル作成	グループワーク
	58	最終確認	PowerPointによる講義
	59	最終確認	グループワーク
	60	最終確認	グループワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 ケーススタディⅡ

W	時間	授業内容	授業方法
	61	音髭振り返り	PowerPointによる講義
	62	音髭振り返り	グループワーク
	63	音髭振り返り	グループワーク
	64	事例研究の進め方	PowerPointによる講義
	65	事例研究の進め方	調査
	66	事例研究の進め方	プレゼンテーション
	67	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	PowerPointによる講義
	68	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	調査
	69	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	プレゼンテーション
	70	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	PowerPointによる講義
	71	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	調査
	72	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	プレゼンテーション
	73	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	PowerPointによる講義
	74	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	調査
	75	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	プレゼンテーション
	76	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	PowerPointによる講義
	77	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	調査
	78	ケーススタディ: 指定テーマから調査, プレゼン	プレゼンテーション
	79	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	PowerPointによる講義
	80	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	ディスカッション
	81	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	プレゼンテーション
	82	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	PowerPointによる講義
	83	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	ディスカッション
	84	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	プレゼンテーション
	85	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	PowerPointによる講義
	86	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	ディスカッション
	87	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	プレゼンテーション
	88	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	PowerPointによる講義
	89	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	ディスカッション
	90	ケーススタディ: 指定の題材についてディスカッション	プレゼンテーション

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 ケーススタディⅡ

W	時間	授業内容	授業方法
	91	店舗運営の流れ、やるべきこと①	PowerPointによる講義
	92	店舗運営の流れ、やるべきこと①	PowerPointによる講義
	93	店舗運営の流れ、やるべきこと①	PowerPointによる講義
	94	店舗運営の流れ、やるべきこと②	PowerPointによる講義
	95	店舗運営の流れ、やるべきこと②	PowerPointによる講義
	96	店舗運営の流れ、やるべきこと②	PowerPointによる講義
	97	成功企業の経営戦略の具体的事例研究①	PowerPointによる講義
	98	成功企業の経営戦略の具体的事例研究①	PowerPointによる講義
	99	成功企業の経営戦略の具体的事例研究①	PowerPointによる講義
	100	成功企業の経営戦略の具体的事例研究①	PowerPointによる講義
	101	成功企業の経営戦略の具体的事例研究①	PowerPointによる講義
	102	成功企業の経営戦略の具体的事例研究①	PowerPointによる講義
	103	成功企業の経営戦略の具体的事例研究②	PowerPointによる講義
	104	成功企業の経営戦略の具体的事例研究②	PowerPointによる講義
	105	成功企業の経営戦略の具体的事例研究②	PowerPointによる講義
	106	成功企業の経営戦略の具体的事例研究②	PowerPointによる講義
	107	成功企業の経営戦略の具体的事例研究②	PowerPointによる講義
	108	成功企業の経営戦略の具体的事例研究②	PowerPointによる講義
	109	成功企業の経営戦略の具体的事例研究③	PowerPointによる講義
	110	成功企業の経営戦略の具体的事例研究③	PowerPointによる講義
	111	成功企業の経営戦略の具体的事例研究③	PowerPointによる講義
	112	成功企業の経営戦略の具体的事例研究③	PowerPointによる講義
	113	成功企業の経営戦略の具体的事例研究③	PowerPointによる講義
	114	成功企業の経営戦略の具体的事例研究③	PowerPointによる講義
	115	成功企業の経営戦略の具体的事例研究④	PowerPointによる講義
	116	成功企業の経営戦略の具体的事例研究④	PowerPointによる講義
	117	成功企業の経営戦略の具体的事例研究④	PowerPointによる講義
	118	評価テスト	レポート作成
	119	評価テスト	レポート作成
	120	評価テスト	レポート作成

シラバス

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
日本語学習	選択	156
対象学科・学年		
事業創造学科 国際ビジネスコース		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
加藤 誠	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
大学におけるビジネスジャパニーズ及びビジネスアドミニストレーションの講義	

(3) 授業概要

12月に行われる日本語能力試験N2の合格を目指し、N2レベルの読解、聴解、文法、語彙、漢字を学ぶ。学習方法としてはまず毎時間最初にその日に学ぶ試験を行って、その後解説を行うトップダウン型にて授業を進める。また下半期には試験対策として問題を解きながら検定試験に合格できる実力を養う。
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

日本語能力検定N2合格を目指す。

(5) 成績評価方法・基準

授業態度30%、小テスト10%、期末試験60%

(6) 使用教材・教具

日本語総まとめ N2 (「日本語能力試験」対策) 文法、読解、聴解、漢字、語彙 日本語能力試験N2公式問題集 凡人社

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 日本語学習

W	時間	授業内容	授業方法
	1	ガイダンス等	
	2	語彙1 1、2	テキストに沿って、テスト→解説
	3	〃	〃
	4	文法1 1、2	テキストに沿って、テスト→解説
	5	〃	〃
	6	漢字2 1、2	テキストに沿って、テスト→解説
	7	〃	〃
	8	聴解1 1	テキストに沿って、テスト→解説
	9	〃	〃
	10	読解1 1、2	テキストに沿って、テスト→解説
	11	〃	〃
	12	語彙1 3、4	テキストに沿って、テスト→解説
	13	〃	〃
	14	文法1 3、4	テキストに沿って、テスト→解説
	15	〃	〃
	16	漢字1 3、4	テキストに沿って、テスト→解説
	17	〃	〃
	18	聴解1 2	テキストに沿って、テスト→解説
	19	〃	〃
	20	読解1 3、4	テキストに沿って、テスト→解説
	21	〃	〃
	22	1日のまとめ	解説
	23	〃	〃
	24	語彙1 5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	25	〃	〃
	26	文法1 5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	27	〃	〃
	28	漢字1 5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	29	〃	〃
	30	聴解1 3	テキストに沿って、テスト→解説

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 日本語学習

W	時間	授業内容	授業方法
	31	聴解1 3	テキストに沿って、テスト→解説
	32	読解1 5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	33	〃	〃
	34	まとめ	解説
	35	〃	〃
	36	語彙1 7	テキストに沿って、テスト→解説
	37	〃	〃
	38	文法1 7	テキストに沿って、テスト→解説
	39	〃	〃
	40	漢字1 7	テキストに沿って、テスト→解説
	41	〃	〃
	42	聴解1 4	テキストに沿って、テスト→解説
	43	〃	〃
	44	読解1 7	テキストに沿って、テスト→解説
	45	〃	〃
	46	1日のまとめ	解説
	47	〃	〃
	48	語彙2 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	49	〃	〃
	50	文法2 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	51	〃	〃
	52	漢字2 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	53	〃	〃
	54	聴解1 5	テキストに沿って、テスト→解説
	55	〃	〃
	56	読解2 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	57	〃	〃
	58	まとめ	解説
	59	〃	〃
	60	〃	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 日本語学習

W	時間	授業内容	授業方法
	61	語彙2 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	62	〃	〃
	63	文法2 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	64	〃	〃
	65	漢字2 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	66	〃	〃
	67	聴解2 1、2	テキストに沿って、テスト→解説
	68	〃	〃
	69	読解2 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	70	〃	〃
	71	まとめ	解説
	72	〃	〃
	73	語彙2 7	テキストに沿って、テスト→解説
	74	〃	〃
	75	文法2 7	テキストに沿って、テスト→解説
	76	〃	〃
	77	漢字2 7	テキストに沿って、テスト→解説
	78	〃	〃
	79	聴解2 3、4	テキストに沿って、テスト→解説
	80	〃	〃
	81	読解2 7	テキストに沿って、テスト→解説
	82	〃	〃
	83	まとめ	解説
	84	〃	〃
	85	語彙3 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	86	〃	〃
	87	文法3 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	88	〃	〃
	89	漢字3 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	90	〃	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 日本語学習

W	時間	授業内容	授業方法
	91	聴解2 5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	92	〃	〃
	93	読解3 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	94	〃	〃
	95	1日のまとめ	解説
	96	〃	〃
	97	語彙3 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	98	〃	〃
	99	文法3 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	100	〃	〃
	101	漢字3 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	102	〃	〃
	103	聴解2 7	テキストに沿って、テスト→解説
	104	〃	〃
	105	読解3 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	106	〃	〃
	107	1日のまとめ	解説
	108	〃	〃
	109	語彙3 7	テキストに沿って、テスト→解説
	110	〃	〃
	111	文法3 7	テキストに沿って、テスト→解説
	112	〃	〃
	113	漢字3 7	テキストに沿って、テスト→解説
	114	〃	〃
	115	聴解2 7	テキストに沿って、テスト→解説
	116	〃	〃
	117	読解3 7	テキストに沿って、テスト→解説
	118	〃	〃
	119	1日のまとめ	解説
	120	〃	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 日本語学習

W	時間	授業内容	授業方法
	121	語彙4 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	122	〃	〃
	123	文法4 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	124	〃	〃
	125	漢字4 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	126	〃	〃
	127	聴解3 1、2	テキストに沿って、テスト→解説
	128	〃	〃
	129	読解4 1、2、3	テキストに沿って、テスト→解説
	130	〃	〃
	131	1日のまとめ	解説
	132	〃	〃
	133	語彙4 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	134	〃	〃
	135	文法4 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	136		
	137	漢字4 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	138	〃	〃
	139	聴解3 3、4	テキストに沿って、テスト→解説
	140	〃	〃
	141	読解4 4、5、6	テキストに沿って、テスト→解説
	142	〃	〃
	143	1日のまとめ	解説
	144		
	145	語彙4 7	テキストに沿って、テスト→解説
	146		
	147	文法4 7	テキストに沿って、テスト→解説
	148		
	149	漢字4 7	テキストに沿って、テスト→解説
	150	〃	〃

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 日本語学習

W	時間	授業内容	授業方法
	151	聴解3 5	テキストに沿って、テスト→解説
	152	〃	〃
	153	読解4 7	テキストに沿って、テスト→解説
	154	〃	〃
	155	まとめ	解説
	156	〃	〃
	157		
	158		
	159		
	160		
	161		
	162		
	163		
	164		
	165		
	166		
	167		
	168		
	169		
	170		
	171		
	172		
	173		
	174		
	175		
	176		
	177		
	178		
	179		
	180		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
日本語学習Ⅱ	選択	60
対象学科・学年		
事業創造学科2年 国際ビジネスコース		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
窪田 浩	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
日本語能力試験 N2の合格を目標とし、留学生を対象とした答案作成練習を行う	

(3) 授業概要

日本語能力試験N2の過去問題による答案作成練習と解説を実施し、12月のN2合格を目指す。
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

日本語能力試験N2の合格

(5) 成績評価方法・基準

授業態度25%、課題・確認テスト25%、期末試験50%

(6) 使用教材・教具

日本語総まとめ N2 (「日本語能力試験」対策) 文法、読解、聴解、漢字、語彙)、過去問題プリント

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

授 業 計 画 書

科目名 日本語学習Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
	1	N2過去問演習(文法)	過去問題プリントによる答案作成練習
	2	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	3	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	4	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	5	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	6	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	7	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	8	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	9	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	10	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	11	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	12	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	13	N2過去問演習(読解)	過去問題プリントによる答案作成練習
	14	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	15	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	16	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	17	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	18	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	19	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	20	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	21	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	22	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	23	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	24	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	25	N2過去問演習(聴解)	過去問題プリントによる答案作成練習
	26	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	27	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	28	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	29	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	30	〃	過去問題プリントによる答案作成練習

【別紙】

授業計画書

科目名 日本語学習Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
	31	N2過去問演習(聴解)	過去問題プリントによる答案作成練習
	32	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	33	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	34	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	35	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	36	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	37	N2過去問演習(漢字)	過去問題プリントによる答案作成練習
	38	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	39	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	40	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	41	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	42	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	43	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	44	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	45	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	46	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	47	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	48	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	49	N2過去問演習(語彙)	過去問題プリントによる答案作成練習
	50	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	51	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	52	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	53	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	54	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	55	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	56	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	57	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	58	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	59	〃	過去問題プリントによる答案作成練習
	60	〃	過去問題プリントによる答案作成練習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
日本文化研究	選択	72
対象学科・学年		
事業創造学科2年 国際ビジネスコース		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
加藤 誠	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
大学におけるビジネスジャパニーズ及びビジネスアドミニストレーションの講義	

(3) 授業概要

<p>日本は高文脈社会であるがため、その社会を理解することが困難なことがある。その高文脈社会でのコミュニケーションや異文化を理解する。日本で生活するために必要な日本の文化、価値観、また慣習を学ぶ。また仕事に必要な仕事の慣習やマナーも含め日本での就業に必要な知識を習得する。授業では自ら行動しながら、生の日本社会を学ぶために、知識教授だけでなく、課題を発表を行う。また、その課題に対し、ディスカッションを行い、学生個々の価値観の違いを認識させながら異文化理解を促進する。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>日本での高文脈社会で生きるために必要な常識とマナーを養う。また、異文化を通し、自己認識を促進する。また様々な国の価値観の違いを認識し、国際人になることを目指す。</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>授業態度25%、課題、ディスカッション25%、期末試験50%</p>

(6) 使用教材・教具

<p>日本語総まとめ N2 (「日本語能力試験」対策) 文法、読解、聴解、漢字、語彙</p>
--

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

授 業 計 画 書

科目名 日本文化研究

W	時間	授業内容	授業方法
8	1	日本の環境	スライド資料による説明、ディスカッション
	2	日本の環境	スライド資料による説明、ディスカッション
	3	日本の環境	スライド資料による説明、ディスカッション
9	4	日本の環境	スライド資料による説明、ディスカッション
	5	日本の環境	スライド資料による説明、ディスカッション
	6	日本の環境	スライド資料による説明、ディスカッション
10	7	日本の文化	スライド資料による説明、ディスカッション
	8	日本の文化	スライド資料による説明、ディスカッション
	9	日本の文化	スライド資料による説明、ディスカッション
11	10	日本の文化	スライド資料による説明、ディスカッション
	11	日本の文化	スライド資料による説明、ディスカッション
	12	日本の文化	スライド資料による説明、ディスカッション
12	13	日本の文化	スライド資料による説明、ディスカッション
	14	日本の文化	スライド資料による説明、ディスカッション
	15	日本の文化	スライド資料による説明、ディスカッション
13	16	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
	17	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
	18	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
14	19	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
	20	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
	21	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
15	22	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
	23	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
	24	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
16	25	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
	26	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
	27	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
17	28	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
	29	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション
	30	日本の生活習慣	スライド資料による説明、ディスカッション

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 日本文化研究

W	時間	授業内容	授業方法
21	31	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	32	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	33	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
22	34	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	35	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	36	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
23	37	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	38	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	39	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
25	40	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	41	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	42	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
26	43	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	44	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	45	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
27	46	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	47	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	48	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
28	49	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	50	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	51	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
29	52	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	53	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	54	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
30	55	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	56	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	57	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
31	58	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	59	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション
	60	日本の仕事の慣習	スライド資料による説明、ディスカッション

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
簿記会計	必修	90
対象学科・学年		
イベントビジネス学科1年、事業創造学科1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
長谷川 慎一	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
税理士補助、月次決算、年次決算、税務相談、申告書作成、	

(3) 授業概要

小売業や卸売業(商業)における基本的な帳簿を作成でき、複式簿記の仕組みを理解し、損益計算書と貸借対照表を作成できる能力を養う。また、数字を読み取る力、一定の計算手法を習得する力を養う。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

全国経理教育協会主催 簿記能力検定試験3級 合格

(5) 成績評価方法・基準

当該授業への出席率80%以上を基本として、①検定試験の結果、②模擬試験の結果、③授業への意欲・取り組みを4:3:3で評価する。

(6) 使用教材・教具

説明・演習用問題プリント、筆記用具、電卓

(7) 授業にあたっての留意点

特になし

(8) その他

特になし

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 簿記会計

W	時間	授業内容	授業方法
	1	動機づけ	講義
	2	簿記の基礎	講義・演習
	3	仕訳について	講義・演習
	4	勘定と転記	講義・演習
	5	仕訳帳と総勘定元帳	講義・演習
	6	決算とは	講義・演習
	7	試算表の作成	講義・演習
	8	現金と預金	講義・演習
	9	当座預金	講義・演習
	10	商品売買 三分法	講義・演習
	11	掛取引	講義・演習
	12	返品	講義・演習
	13	商品売買に係る帳簿	講義・演習
	14	売上原価対立法	講義・演習
	15	費用の支払い	講義・演習
	16	収益の受け取り	講義・演習
	17	約束手形	講義・演習
	18	手形貸付金と手形借入金	講義・演習
	19	未収金と未払金	講義・演習
	20	前払金と前受金	講義・演習
	21	仮払金と仮受金	講義・演習
	22	立替金と預り金	講義・演習
	23	現金過不足	講義・演習
	24	小口現金	講義・演習
	25	消費税の処理	講義・演習
	26	引出金と税金	講義・演習
	27	有価証券	講義・演習
	28	有形固定資産	講義・演習
	29	株式会社の資本構成	講義・演習
	30	株式の発行	講義・演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 簿記会計

W	時間	授業内容	授業方法
	31	売上原価の計算	講義・演習
	32	貸倒れの見積もり	講義・演習
	33	消耗品費の処理	講義・演習
	34	費用の繰延べ	講義・演習
	35	費用の見越し	講義・演習
	36	精算表	講義・演習
	37	損益計算書と貸借対照表	講義・演習
	38	帳簿の締切り	講義・演習
	39	3伝票制	講義・演習
	40	試算表作成問題の解き方	講義・演習
	41	問題演習と解説	講義・演習
	42	問題演習と解説	講義・演習
	43	問題演習と解説	講義・演習
	44	問題演習と解説	講義・演習
	45	問題演習と解説	講義・演習
	46	問題演習と解説	講義・演習
	47	問題演習と解説	講義・演習
	48	問題演習と解説	講義・演習
	49	問題演習と解説	講義・演習
	50	問題演習と解説	講義・演習
	51	問題演習と解説	講義・演習
	52	問題演習と解説	講義・演習
	53	問題演習と解説	講義・演習
	54	問題演習と解説	講義・演習
	55	問題演習と解説	講義・演習
	56	問題演習と解説	講義・演習
	57	問題演習と解説	講義・演習
	58	問題演習と解説	講義・演習
	59	問題演習と解説	講義・演習
	60	問題演習と解説	講義・演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 簿記会計

W	時間	授業内容	授業方法
	61	模擬試験	演習
	62	模擬試験	演習
	63	模擬試験	演習
	64	模擬試験	演習
	65	模擬試験	演習
	66	模擬試験	演習
	67	模擬試験	演習
	68	模擬試験	演習
	69	模擬試験	演習
	70	模擬試験	演習
	71	模擬試験	演習
	72	模擬試験	演習
	73	模擬試験	演習
	74	模擬試験	演習
	75	模擬試験	演習
	76	模擬試験	演習
	77	模擬試験	演習
	78	模擬試験	演習
	79	模擬試験	演習
	80	模擬試験	演習
	81	模擬試験	演習
	82	模擬試験	演習
	83	模擬試験	演習
	84	模擬試験	演習
	85	模擬試験	演習
	86	模擬試験	演習
	87	模擬試験	演習
	88	模擬試験	演習
	89	模擬試験	演習
	90	模擬試験	演習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
問題解決法	必修	36時間
対象学科・学年		
事業創造学科・イベントビジネス学科 2年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
遠田 孝之	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>本授業は、社会に存在する様々な問題を解決するための基礎となる論理的思考を養うと同時に、考え方を整理するための手法(フレームワーク)を個人作業やグループワークを通して身につける授業である。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・問題の本質は何かに気づき、解決するために最適なフレームワークを用いて、問題解決のプロセスを明確に説明ができる。 ・グループワーク形式の授業を多く取り入れることにより、自らの言動だけではなく、他者の意見を尊重しながら、目的に向けて協力して取り組む力を養う。

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①期末テストおよび授業時に課されるレポート②グループワーク時の貢献度および授業態度 を6:4の比率で総合的に評価する。</p>

(6) 使用教材・教具

<p>パソコン、筆記用具 (パソコンについては必要な場合、担当者から事前連絡がある)</p>
--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 問題解決法

W	時間	授業内容	授業方法
後期 1	1	オリエンテーション、問題とは何か・問題の重要性	補助プリントを使用しての講義
	2	問題のとらえ方	補助プリントを使用しての講義
	3	問題の種類	補助プリントを使用しての講義
後期 2	4	SWOT分析と様々な分析ツール(PEST分析他)	補助プリントを使用しての講義
	5	SWOT分析(新潟県について/自分自身について)	補助プリントを使用・演習
	6		補助プリントを使用・演習
後期 3	7	グループワークの心得、ワーク内容についての説明、グループワーク開始	補助プリントを使用
	8	課題(M社の売上を上げるには、3ヶ月で100万円を稼ぐには)	補助プリントを使用・演習(グループワーク)
	9	発表	補助プリントを使用・演習(グループワーク)
後期 4	10	KJ法	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習(グループワーク)
	11	KJ法	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習(グループワーク)
	12	KJ法	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習(グループワーク)
後期 5	13	KJ法	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習(グループワーク)
	14	KJ法	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習(グループワーク)
	15	KJ法	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習(グループワーク)
後期 6	16	KJ法	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習(グループワーク)
	17	KJ法	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習(グループワーク)
	18	KJ法	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習(グループワーク)
後期 7	19	帰納法と演繹法(仮説と検証)	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習
	20	帰納法と演繹法(仮説と検証)	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習
	21	帰納法と演繹法(仮説と検証)	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習
後期 8	22	MECE(ロジックツリー)	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習
	23	MECE(ロジックツリー)	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習
	24	MECE(ロジックツリー)	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習
後期 9	25	ピラミッド構造	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習
	26	ピラミッド構造	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習
	27	ピラミッド構造	補助プリント・パワーポイントを使った講義および演習
後期 10	28	【演習】献血者を増やすには	献血センター職員による献血の現状と問題提起
	29	【演習】献血者を増やすには	献血センター職員による献血の現状と問題提起
	30	【演習】献血者を増やすには	演習(グループワーク)

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 問題解決法

W	時間	授業内容	授業方法
後期 11	31	【演習】献血者を増やすには	演習(グループワーク)
	32	【演習】献血者を増やすには	演習(グループワーク)
	33	発表	発表後、献血センター職員による総評
後期 12	34	テスト	補助プリントを使用
	35	テスト	補助プリントを使用
	36	テスト	補助プリントを使用
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		